

## 第33回 公益社団法人日本看護科学学会総会 議事録

日時：平成25年(2013年)12月6日(金) 17:00~18:30

場所：大阪国際会議場 5階 メインホール

大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51 TEL:06-4803-5555

出席者：3,058名 (会場出席者 112名、委任状 2,946名)

議長：林 優子

### I. 開会

開始時の会場出席正会員53名(うち理事・監事16名)、有効委任状提出者2,946名、合計2,999名で、日本看護科学学会の定款第45条に定められた要件である全会員の10分の1の出席を満たしていることが確認され、公益社団法人日本看護科学学会第33回総会が開会された。

司会は安酸史子副理事長、書記は西尾ゆかり(大阪医科大学)、片岡 純(愛知県立大学)で行なわれた。

### II. 理事長挨拶

田村やよひ理事長より、以下の挨拶があった。

本年6月から理事長の任を担っているが、2012年12月以降の理事会、社員総会、各委員会の活動報告を行なう中で、会員の皆様と意見交換をする有意義な時間としたい。

### III. 議長指名および議事録署名人の承認

定款第44条に従い、議長には第33回学術集会の林優子会長が指名された。

また、議事録署名人には、代議員の藤本栄子氏、代議員の町浦美智子氏の2名が選出された。

### IV. 報告事項

議長より、学会総会の報告内容は、12月5日に大阪国際会議場で行なわれた「平成25年12月社員総会」における報告内容と同一であることが説明された。

#### 1. 理事会報告および社員総会報告

資料に基づき、田村理事長より以下の報告がされた。

##### 1) 理事会報告 (pp2-6)

平成24年度第6回理事会(2013年2月17日)では、学術振興事業検討委員会の構成案が検討され、委員会が正式に発足した

平成25年度第1回理事会(5月12日)では、定例社員総会に向けての準備と確認を行なった。

第2回理事会(6月23日)までは前期理事会のメンバーが担い、6月定例社員総会を迎えた。

臨時理事会(7月15日)では、各理事の担当する委員会を決定し、年間の理事会および平成26年度定例社員総会の日程を決め、新しい理事会の体制が発足した。

第3回理事会(9月8日)では、第33回および第34回学術集会の準備状況、第36回学術集会の候補選出、名誉会員の候補者の選出について審議した。

第4回理事会(11月4日)では、第33回および第34回学術集会の準備状況、第36回学術集会の会長選出について審議を行ない、会長が承認された。また、12月社員総会の資料、第3回JANSセミナーの準備状況について確認した。

昨日の第5回理事会(12月5日)では、社員総会と学会総会の進行について最終確認をした。

## 2) 社員総会報告 (pp7-8)

平成25年度6月定例社員総会(2013年6月23日)では、平成24年度決算の承認および会計監査の報告がされ、理事選任案の承認がされた。

昨日の12月社員総会(12月5日)では、理事会および各委員会の活動報告がされ、平成26年度事業計画案および平成26年度予算案が承認された。また、名誉会員および第36回学術集会会会長が承認された。

## 2. 総務報告 (p9)

資料に基づき、総務担当の高橋真理理事より以下の報告がされた。

平成25年10月31日現在の正会員数7,531名、名誉会員10名、賛助会員5件、会員総数7,546件であり、昨年度より約500件増加している。

## 3. 選挙管理委員会報告 (pp10-11)

資料に基づき、太田勝正選挙管理委員長より以下の報告がされた。

平成25年選出理事候補者選挙に当たり、初めての試みとしてWeb選挙方式で行なった。平成24年(2012年)12月15日公示、平成25年(2013年)2月28日投票締め切り、3月1日開票で、開票立会人は前田樹海氏(東京有明医療大学)であった。最終的な投票率70.3%を得た。理事候補者就任の手続きに則り、最終的な候補者を理事会に提出して、承認を得たのち、定款に則り、6月定例社員総会にて承認を得た。

平成26年度以降に、代議員選挙ならびに役員候補者選挙を控えているが、今回の選挙で紙での投票を希望した代議員は202名中4名であったことも鑑み、当期委員会としては、今後もWeb選挙の実施が可能であるとの見解を持っている。

## 4. 委員会活動報告 (pp14-21)

資料に基づき、会場スクリーンにパワーポイント資料を映写しながら、総務担当の高橋理事より以下の報告がされた。

### 1) 総務委員会

入会審査および会員データ管理を行なった。迅速な情報伝達、選挙Web化のため、会員マイページへのメールアドレス登録を推進している。10月31日現在の会員数は7,546名で、前年度より順調に増加している。

### 2) 和文誌編集委員会

「日本看護科学会誌」第33巻第1号、同2号、同3号を発行し会員に配布した。和文誌完全電子ジャーナル化および定期購読者への移行措置、印刷版のニーズと別刷り価格についての会員を対象とした調査、電子版への論文随時掲載について費用と実施体制の検討、専任査読委員の任期満了および新規就任依頼、投稿種別の検討(原著の定義、研究報告の扱い)、オンライン査読のスピードアップに関する検討と試行、機関リポジトリへの掲載依頼への対応を行なった。

### 3) 英文誌編集委員会

Holzemer編集長来日のもと編集委員会を開催し、JJNS(Japan Journal of Nursing Science) Vol.9 No.2、Vol.10 No.1を発行し、会員に配布した。JJNSは2014年から完全に電子化し、本年12月のVol.10 No.2が冊子体最終号で、「JJNS発刊10周年記念号」として発刊する。2012年10月27日に啓発活動としてJJNSセミナー「Improving Your Success at Publishing in English」を実施した。会員の

投稿促進のため、編集長・編集委員長の手紙と見本誌を博士後期課程のある71の大学院に送付した。  
2012年度のimpact factorは0.583と上昇した。

#### 4) 研究・学術情報委員会

2012年に実施した「若手看護系研究者調査」報告書を学会HPで公開し、看護系大学に送付し、同調査を基に1本の論文を投稿した。平成25年度6月定例社員総会と同日で第2回JANSセミナーを実施した。若手アカデミー発足に向けて、同企画メンバーが第33回学術集会で交流集会を実施する。看護系学会等社会保険連合(看保連)関連委員会に出席した。

#### 5) 国際活動推進委員会

世界看護科学学会(WANS)の事務局業務を行なった。2013年10月18日、韓国ソウルでの「第3回WANS学術集会」開催の支援をした。WANSホームページおよび異文化看護データベースの見直し、看護学のグローバルスタンダードや国際活動のあり方について検討を行なった。

#### 6) 看護学学術用語検討委員会

看護学学術用語のさらなる体系化作業を開始した。これまでの成果物を元に、体系化推進のためISO(学術用語作成のための国際標準マニュアル)に沿って実施する。

#### 7) 看護倫理検討委員会

「倫理審査の対象に関するガイドライン」作成のため、国内外の文献・資料の検討と専門家へのヒヤリングを実施した。

#### 8) 社会貢献委員会

第33回および第34回学術集会企画委員会との連携、第33回学術集会企画として市民フォーラム「ほんまかいな！笑いの力で健康増進」、および中学・高校生向けのナーシング・サイエンス・カフェ「めざせ看護職！先輩が語る看護の仕事とその魅力」を実施する。以上の企画は広報委員会と連携して進行している。

#### 9) 表彰論文選考委員会

表彰論文選考方針・選考基準・選考手順を決定の上、優秀賞候補3件、奨励賞候補3件に絞り込み、代議員による選考結果を集計した。最終的に優秀賞論文1編、奨励賞論文2編を選び、理事会の承認を得た。

#### 10) 広報委員会

業務マニュアル化、活動効率化で対面会議を減少した。第33回学術集会企画委員会との連携での広報活動、社会貢献委員会との連携、国際活動推進委員会との連携、学会HPの更新と整理、第34回学術集会企画委員会との連携を行なっている。

#### 11) 研究倫理審査委員会

審議すべき事案が申請されなかったため、委員会の開催はなかった。

#### 12) 災害看護支援事業専門委員会

平成24年度災害看護支援金による助成事業は、8件の応募から4件を採択した。本事業は日本看護系

学会協議会(JANA)との共催のため、完了年度の間接報告・最終報告・収支報告を提出した。第33回学術集会において交流集会と「ワンコイン募金活動」を実施し、募金目標額は100万円である。2014年3月初旬より、平成26年度災害看護支援事業の助成事業募集を開始する。

### 13)学術振興事業検討委員会

将来構想委員会(注:平成23年度までの時限的委員会)の提言に基づき、本学会における学術振興について深く検討する委員会として発足し、委員長は理事長が務める。今後の活動の方向性は、①JANSのNursing Academyとしての特性や組織力を生かした活動、②若手看護学研究者アカデミーの組織化、③Up-to-Dateな政策提言である。

### 14)他機関との連携活動

#### ① 日本看護系学会協議会

平成25年度総会にて「看護ケアガイドライン開発推進プロジェクト」を日本学術会議等との交流事業として承認した。新規事業として、日本看護系学会協議会のあり方検討会、役員選出に関する検討プロジェクトを立ち上げた。本学会より災害支援事業の事業費確保のため各学会へ募金の取り組みを依頼した。また、総会後に講演会「看護学領域における外部資金獲得のために」が行なわれた。

#### ② 看護系学会等社会保険連合

新役員として、代表理事に井部俊子氏、副代表に岡谷恵子氏が選出された。看保連助成金にJANS推薦の研究計画が採択された。管理費負担金変更により、平成26年度より本学会の負担は7万円となった。診療報酬の適正評価のため看護ケア技術体系化の検討が本格化し、看護技術検討委員会で「医療技術評価提案書」の取りまとめが行なわれた。

#### ③ 日本学術会議

日本学術会議ニュース・メールを役員に提出した。

#### ④ 世界看護科学学会

第3回WANS(世界看護科学学会)学術集会が2013年10月18日、韓国ソウルにおいて開催され、580名の参加があった。第4回学術集会は2015年10月、ドイツのハノーファー(Hannover)にて開催予定であり、会長はIris Meyenburg-Altward氏である。WANS理事長は南裕子氏が2014年1月～2015年12月まで就任し、副理事長はMeyenburg-Altward氏が務める。今後の課題は、会員拡大、会費の徴収、ホームページの充実である

#### ⑤ その他の機関

厚生労働省による関係学会を対象とした意見募集「指定研修における行為群(案)～行為群に対するその他のご意見」に対し、2013年8月5日に意見を提出した。

以上の報告について、会場より質問があった。

#### 【質疑応答】

○学術振興事業検討委員会の報告にあった「若手看護学研究者アカデミーの組織化」に関し、理事会としてどのように取り組んでいく予定か、「Up-to-Date な政策提言」とはどういう提言をしようとしているのか、説明してほしい。

→若手看護学研究者アカデミーの組織化については、学術振興事業検討委員会を中心に進めている。若手の組織化を図るため、まず交流集会を開き、集まった若手研究者を核に横の繋がりを作っていく、将来的には本学会の委員会的な位置づけをして、メンバーの選出基準および、どのような研究をエンカレッジしていくかを検討していく。また、来年度予算に入れてあるが、看護学の研究者や他分野研究者との意見交換の場を検討している。

Up-to-Dateな政策提言については、社会の高齢化と少子化を踏まえ、看護界からの提言を行なう。日本だけでなく東南アジア近隣諸国も高齢化・少子化が進んでおり、グローバル化についても本学会としてどういう取り組みが必要か、検討していきたい。また、社員総会で研究環境の整備も政策に盛り込んでほしいなど、さまざまな要望があり、これらも踏まえて検討していく。社会の動向に対してどのようなタイミングで反応すればよいか、機動的に対応できる組織作りも考える必要がある。

## 5. 平成24年度決算報告 (pp22-35)

資料に基づき、会計担当の和住淑子理事より以下の報告がされた。

平成24年度決算については本年6月の定例社員総会で報告し、承認済みである。事業活動収支の部として、会費収入(70,750,000円)と学術集会収入(49,713,711円)を含め、収入合計126,318,022円であった。事業活動支出は、事業費支出(89,098,789円)と管理費支出(37,354,734円)を合わせ、支出合計126,453,523円で、事業活動収支差額は135,501円の赤字であるが、予算では4,877,684円の赤字を見込んでいたため、改善している。投資活動収支の部は資金の内部移動であり、選挙積立や災害看護支援資産を含め、3,849,731円を積み立てているが、この投資活動収支差額は1,704,217円である。最終的な当期収支差額は、使用していない予備費支出(3,000,000円)を含め、1,568,716円の黒字である。また、次期繰越収支差額は59,901,240円となり、財務状況は改善している。

以上の報告について、会場より質問があった。

[質疑応答]

○災害看護支援募金の扱い方について、集めたお金はできるだけ速やかに東北地方の災害看護活動に還元していくことが当初の意図と考える。応募された事業8件から厳選し、4件を採択されたと思うが、残高が出る募金活動をどういう意図で行なっているのか、お金を有効活用する計画を説明してほしい。

→(田村理事長) ただ今、会計担当理事が報告したのは、平成24年度(2013年3月31日時点)の決算であり、本年6月の定例社員総会で報告された段階では、平成25年度の災害看護支援事業が既に開始されており、原資を使っている。よって、口座に多くの残高はなく、不足分を補うべく、第33回学術集会での「ワンコイン募金」など、募金活動を再開している。

○応募された事業案を委員会が審査する方法をいつまで続けるのか、どれくらいの中長期的な計画を立てているのか説明してほしい。

→(災害看護支援事業専門委員長 山本あい子理事) 委員会としては、中長期の具体的な年数については検討していないので、今後の課題とする。将来的には、さらに大きな規模の募金活動が行なえるように考えていきたい。

## 6. 平成26年度事業計画の報告 (p36)

資料に基づき、田村理事長より以下の報告がされた。

平成26年度事業計画として、第34回学術集会の開催、第35回・第36回学術集会の準備、電子ジャーナルとしての和文誌と英文誌の発行、なお和文誌については年1回の合本版を発行する。看護学学術振興対策として、1)看護学学術用語の検討を進めること、2)世界看護科学学会を含む国際活動の推進、3)看護倫理の検討と啓発を進めること、4)研究成果の蓄積と活用を有機的に進めていくこと、の4件を行なう。また、学術研究論文の表彰を行なう。学会組織の強化・発展として、1)若手研究者育成のための新規事業、2)JANSセミナーの定例化、3)学術振興事業の検討、4)学会誌の電子化、5)選挙の電子化、6)委員会等の遠隔会議システムの導入、の6件を行なう。さらに社会貢献活動、広報活動の強化、日本看護系学会協議会との共同事業としての災害看護支援事業、他機関との連携活動を行なう。なお、今期理事会の重要な仕事として、平成27年度選出代議員選挙実施と平成27年選出役員候補者選挙準備がある。

## 7. 平成26年度予算の報告 (pp37-41)

資料に基づき、会計担当の和住理事より以下の報告がされた。

事業活動収支の部として、会費収入(79,800,000円)と学術集会収入(41,064,800円)を含め、収入合計128,418,800円を見込んでいる。この中には、JANSセミナーなどの雑収入4,403,000円も含んでいる。事業活動支出は、事業費支出(81,165,400円)と管理費支出(45,412,000円)を合わせ、支出合計として126,577,400円を見込んでいる。なお、管理費支出が前年比で4,425,000円増となっているが、注記(※)に記載の通り、総務担当パート職員1名増員を見込み、かつ、正職員1名が転居による通勤経路変更で通勤費が増え、これに伴い社会保険料なども増額した理由による。投資活動収支の部では、4,575,000円を取り崩しているが、選挙積立預金や災害看護支援資産を含め、3,200,000円の内部資金移動(積立)を見込んでおり、収支差額が1,375,000円となる。以上により、当期収支差額は216,400円の黒字となり、次期繰越収支差額は56,145,690円を見込んでいる。

## 8. 名誉会員について (pp42-43)

資料に基づき、田村理事長より以下の報告がされた。

新しい名誉会員として、中島紀恵子氏、小玉香津子氏の2名が、12月5日の社員総会において承認された。

2名のうち、出席した中島氏に名誉会員証が授与された。(小玉氏には後日、郵送された。)

## 9. 第36回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告 (p44)

資料に基づき、田村理事長より以下の報告がされた。

平成28年度(2016年)開催の第36回学術集会(JANS36)会長として、岡谷恵子氏(東京医科大学)が選任された

## 10. その他

会員からの報告や意見は特になかった。

## V. 表彰

田村理事長より、学術論文優秀賞1件の受賞者名、学術論文奨励賞2件の受賞者名が読み上げられ、筆頭著者3名に賞状と副賞が授与された。対象となった論文は以下の通りである。(敬称略)

[優秀賞]

Nobuko OKUBO (大久保暢子)

論文名 : Effectiveness of the “Elevated Position” Nursing Care Program in promoting the reconditioning of patients with acute cerebrovascular disease.

(Japan Journal of Nursing Science, 9(1), 76-87, 2012.)

[奨励賞]

角田 秋(筆頭著者)、柳井晴夫、上野桂子、木全真理、瀬尾智美、船越明子、萱間真美

論文名 : 精神科訪問看護ケアの類型化の検討—訪問看護ステーションが統合失調症を有する人へ提供するケアの類型と対象の特性—

(日本看護科学会誌, 32(2), 3-12, 2012.)

[奨励賞]

布谷(吹田)麻耶(筆頭著者)、鎌倉やよい、深田順子、熊澤友紀

論文名 : クロウン病患者への食事指導プログラムの開発と有効性の検証

(日本看護科学会誌, 32(3), 74-84, 2012.)

## VI. 第34回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶

第34回学術集会(JANS34)会長である愛知県立大学の鎌倉やよい氏より、会場スクリーンにパワーポイント資料を映写しながら、以下の挨拶と説明があった。

「看護ケア学の構築を目指す -研究成果を臨床へ-」をテーマに、2014年11月29日(土)～30日(日)の日程で名古屋国際会議場において第34回学術集会を開催する。特別講演は真田弘美先生(東京大学)による「褥瘡ケアの体系化」、および坂上貴之先生(慶應義塾大学)による「セルフマネジメント」をテーマとし、教育講演には大久保暢子先生(聖路加看護大学)を迎える。看護ケアをテーマとするシンポジウムやワークショップも企画しているので、ぜひ多くの皆様にご参加いただきたい。

## VII. 閉会

司会の安酸副理事長より、最終的な会場出席者が112名、委任状提出者が2,946名、合計3,058名であることが報告され、閉会となった。

この議事録が正確であることを証するため、議長および議事録署名人により以上の議事を認め、記名押印する。

平成26年(2014年)1月15日

議 長 林 優 子 ㊟

議事録署名人 藤 本 栄 子 ㊟

議事録署名人 町 浦 美 智 子 ㊟

## 第33回 公益社団法人 日本看護科学学会総会

日 時 平成25年(2013年)12月6日(金) 17:00~18:30  
場 所 大阪国際会議場 5階 メインホール  
大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51 TEL:06-4803-5555

### 【議事次第】

- I. 開会
- II. 理事長挨拶
- III. 議長指名および議事録署名人の承認
- IV. 報告事項
  1. 理事会報告および社員総会報告
  2. 総務報告
  3. 選挙管理委員会報告
  4. 委員会活動報告
    - 1) 総務委員会
    - 2) 和文誌編集委員会
    - 3) 英文誌編集委員会
    - 4) 研究・学術情報委員会
    - 5) 国際活動推進委員会
    - 6) 看護学学術用語検討委員会
    - 7) 看護倫理検討委員会
    - 8) 社会貢献委員会
    - 9) 表彰論文選考委員会
    - 10) 広報委員会
    - 11) 研究倫理審査委員会
    - 12) 災害看護支援事業専門委員会
    - 13) 学術振興事業検討委員会
    - 14) 他機関との連携活動
      - ① 日本看護系学会協議会
      - ② 看護系学会等社会保険連合
      - ③ 日本学術会議
      - ④ 世界看護科学学会
      - ⑤ その他の機関
  5. 平成24年度決算報告
  6. 平成26年度事業計画の報告
  7. 平成26年度予算の報告
  8. 名誉会員について
  9. 第36回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告
  10. その他
- V. 表彰
- VI. 第34回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶
- VII. 閉 会



# 公益社団法人日本看護科学学会 役員・社員

(平成 25 年 12 月 1 日現在)

理事長 田村 やよひ

副理事長 安酸 史子

第 33 回学術集会会長

林 優子

第 34 回学術集会会長

鎌倉 やよい

第 35 回学術集会会長

小山 眞理子

理事：麻原きよみ、萱間 真美、グレッグ美鈴、小坂橋喜久代、酒井 郁子、高橋 眞理、  
武田 祐子、中山 洋子、宮崎 美砂子、山本 あい子、吉沢豊予子、和住 淑子

監事：小島 操子、近藤 潤子

名誉会員：飯田澄美子、稲岡 文昭、氏家 幸子、薄井 垣子、兼松百合子、林 滋子、樋口 康子、  
日野原重明、松野かほる、山崎 智子

賛助会員：(株)医学書院、(株)南江堂、(株)日本看護協会出版会、(有)ヌーヴェルヒロカワ、(株)へるす出版  
(以上、五十音順)

## 社員

<b>【北海道】</b>	永井 優子	及川 郁子	上野 栄一	北村 愛子	津島 ひろ江
石井 トク	成田 伸	数間 恵子	川島 和代	グレッグ美鈴	時長 美希
稲葉 佳江	縄 秀志	金井 PAK 雅子	北岡 和代	黒江 ゆり子	長戸 和子
奥宮 暁子	二渡 玉江	萱間 真美	紺家 千津子	坂下 玲子	中野 綾美
近藤 潤子	松田 たみ子	河口 てる子	西村 真実子	末原 紀美代	野嶋 佐由美
中村 恵子	水野 道代	川村 佐和子	<b>【東海】</b>	鈴木 志津枝	深井 喜代子
野川 道子	森 千鶴	小松 浩子	明石 恵子	高田 早苗	宮腰 由紀子
平 典子	<b>【南関東】</b>	坂本 すが	浅野 みどり	高見沢恵美子	森下 利子
三国 久美	青木 きよ子	佐藤 エキ子	安藤 詳子	田中 京子	森下 安子
山田 律子	石井 邦子	志自岐 康子	市江 和子	玉木 敦子	山勢 博彰
良村 貞子	石垣 和子	高木 廣文	大津 廣子	田村 恵子	山田 覚
<b>【東北】</b>	大島 弓子	武井 麻子	大西 和子	近澤 範子	<b>【九州・沖縄】</b>
安藤 広子	大室 律子	田代 順子	片岡 純	西村 ユミ	石原 逸子
石井 範子	岡田 忍	田中 美恵子	勝原 裕美子	二宮 啓子	井上 範江
角濱 春美	黒田 久美子	筒井 真優美	鎌倉 やよい	任 和子	宇座 美代子
叶谷 由佳	近藤 まゆみ	水流 聡子	紙屋 克子	野並 葉子	浦田 秀子
上泉 和子	酒井 郁子	鶴田 恵子	小島 操子	早川 和生	奥 祥子
桑名 佳代子	佐藤 紀子	野末 聖香	小西 美智子	林 千冬	小田 正枝
小林 淳子	佐藤 まゆみ	濱口 恵子	小松 万喜子	林 優子	嘉手苅 英子
佐藤 富美子	諏訪 さゆり	菱沼 典子	奈良間 美保	前原 澄子	川本 利恵子
塩飽 仁	高橋 眞理	福井 トシ子	野口 眞弓	牧本 清子	北原 悦子
徳永 恵子	谷本 眞理子	操 華子	藤井 徹也	町浦 美智子	金城 祥教
中村 由美子	中村 伸枝	宮本 真巳	藤本 栄子	山本 あい子	草間 朋子
布施 淳子	野地 有子	山本 則子	村本 淳子	<b>【中国・四国】</b>	斉藤 ひさ子
吉沢 豊予子	三上 れつ	<b>【甲信越】</b>	百瀬 由美子	畦地 博子	田中 美智子
リボウイツツよし子	宮崎 美砂子	阿保 順子	渡邊 順子	池添 志乃	中尾 久子
<b>【北関東】</b>	森 明子	内田 雅代	<b>【近畿】</b>	猪下 光	鳩野 洋子
安梅 勅江	山田 雅子	小林 康江	青山 ヒフミ	植田 喜久子	東 サトエ
牛久保美津子	山本 利江	清水 嘉子	荒尾 晴恵	小笠原 知枝	森田 敏子
大塚 眞理子	和住 淑子	征矢野あや子	井上 智子	小野 ミツ	安酸 史子
岡 美智代	<b>【東京】</b>	中込 さと子	上野 昌江	國方 弘子	矢野 正子
川口 孝泰	秋山 正子	堀内 ふき	岡谷 恵子	久保田 聡美	山勢 善江
小坂橋喜久代	麻原 きよみ	渡辺 タミ子	片田 範子	新道 幸恵	李 節子
佐伯 由香	有森 直子	渡辺 みどり	勝田 仁美	關戸 啓子	〔以上、202 名 地区別・五十音順〕
高橋 照子	井部 俊子	<b>【北陸】</b>	金川 克子	多田 敏子	
田村 やよひ	江本 リナ	稲垣 美智子	我部山キヨ子	田中 マキ子	

# 公益社団法人日本看護科学学会 理事会活動状況

(平成24年12月1日～平成25年12月6日)

## 平成24年度第6回理事会

日時：平成25年2月17日(日) 13:00～16:40

場所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷3-37-3 富士見ビル201号室）

出席者：理事13名（うち1名 Web 参加）、監事1名、第32回学術集会会長、第33回学術集会会長

### 〈連絡事項〉

委員会事業報告および経費支払伝票の提出について（6月定例社員総会の資料として）

### 〈報告事項〉

平成24年度第5回理事会議事録

平成24年度11月社員総会議事録

第32回学会総会議事録

### 〈審議事項〉

1. 第32回日本看護科学学会学術集会（JANS32）の最終報告
2. 第33回日本看護科学学会学術集会（JANS33）の準備状況
3. 理事会からの報告
  - 1) 学術振興事業検討委員会の構成案
  - 2) 内閣府への申請状況 …会費配分率変更、事業のカテゴリー変更
  - 3) 理事候補者選挙の進捗状況
  - 4) JANSセミナー（1月27日）の実施報告
  - 5) 次回JANSセミナー（6月）の企画（テーマ、担当理事）
  - 6) 平成25年度6月定例社員総会の会場とスケジュール
    - ・平成25年6月定例社員総会の開催について
    - （平成25年6月定例社員総会欠席者の議決権の行使方法について）
  - 7) 申し合わせの変更 … 学術集会開催、会計（第5回理事会承認済）
  - 8) 災害看護支援事業報告（事業、収支）に関するJANAからの要請
4. 各委員会における今年度予算執行状況（～2013年1月）
5. 各委員会における事業の進捗状況
  - 1) 総務委員会からの報告
  - 2) 和文誌編集委員会からの報告
  - 3) 英文誌編集委員会からの報告
  - 4) 研究・学術情報委員会からの報告
  - 5) 国際活動推進委員会からの報告
  - 6) 看護学学術用語検討委員会からの報告
  - 7) 看護倫理検討委員会からの報告
  - 8) 社会貢献委員会からの報告
  - 9) 表彰論文選考委員会からの報告
  - 10) 広報委員会からの報告
  - 11) 研究倫理審査委員会からの報告

- 12) 災害看護支援事業専門委員会からの報告
  - 13) 30周年記念誌編纂委員会からの報告
  - 14) 他団体との連携について
    - ・ 日本看護系学会協議会、日本学術会議、その他
    - ・ 看護系学会等社会保険連合（看保連）
    - ・ 世界看護科学学会
6. 入会希望者の承認
  7. その他

## 平成 25 年度第 1 回理事会

日 時：平成 25 年 5 月 12 日(日) 13:00～17:10

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 14 名、監事 1 名、第 34 回学術集会会長、第 34 回学術集會事務統括、選挙管理委員長  
〈報告事項〉

平成 24 年度第 6 回理事会議事録

〈審議事項〉

1. 第 33 回日本看護科学学会学術集會の準備状況
2. 第 34 回日本看護科学学会学術集會（JANS34）の準備状況
3. 選挙管理委員会からの報告 …平成 25 年選出理事候補者選挙
4. 決算報告および監査報告の承認（各委員会予算執行状況/2013 年 3 月末現在）
5. 平成 25 年 6 月定例社員総会について
  - 1) 社員総会資料の確認
    - ① 平成 24 年度事業報告の承認
    - ② 平成 24 年度決算の承認
    - ③ 理事選任案の承認
  - 2) 役割分担シナリオの確認
6. 理事会からの報告
  - 1) 第 2 回 JANS セミナー（6 月 23 日）の準備状況
  - 2) 学術振興事業検討委員会/第 1 回委員会報告（5 月 11 日）
  - 3) 内閣府への申請結果（会費配分率変更、事業のカテゴリー変更）
  - 4) 代議員の辞任等による、次点者の繰り上げ就任について
  - 5) 電子投票を反映した選挙規程の修正案
7. 各委員会における事業の進捗状況
8. 入会希望者の承認
9. その他

## 平成 25 年度第 2 回理事会

日 時：平成 25 年 6 月 23 日(日) 9:00～10:20

場 所：ベルサール神田（東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル 3F）

出席者：理事 11 名、監事 2 名、第 33 回学術集会会長

### 〈報告事項〉

平成 25 年度第 1 回理事会議事録

### 〈審議事項〉

1. 第 33 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 34 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 社員総会資料と役割分担シナリオの最終確認およびリハーサル
4. 各委員会における事業の進捗状況
5. 入会希望者の承認
6. その他

## 平成 25 年度臨時理事会

日 時：平成 25 年 7 月 15 日(日) 13:00～15:30

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 14 名、監事 2 名

### 〈審議事項〉

はじめに … 理事長挨拶、役員自己紹介

1. 今後（2013 年 8 月～2014 年 2 月）の理事会日程
2. 平成 26 年度 6 月定例社員総会（2014 年）の日程
3. 各委員会における委員の承認
4. 第 2 回 JANS セミナーの報告
5. 各委員会からの事業報告
6. 厚生労働省「関係学会を対象とした意見募集」について
7. その他

### 〈連絡事項〉

1. 事務職員の勤務シフト、仕事の内容
2. Web 会議システムの利用法

## 平成 25 年度第 3 回理事会

日 時：平成 25 年 9 月 8 日(日) 13:00～16:40

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 12 名、監事 1 名、第 33 回学術集会会長、第 34 回学術集会会長

### 〈連絡事項〉

- 委員会活動報告および活動計画・予算案の提出（社員総会用）について
- 2013 年 12 月／学術集会開催時期の各会議について
- 事務所利用案内について

〈報告事項〉

平成 25 年度臨時理事会議事録

〈審議事項〉

1. 第 33 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 34 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 第 36 回日本看護科学学会学術集会 (JANS36) の候補者選出
4. 名誉会員候補の推薦
5. 平成 26 年度 6 月定例社員総会 (2014 年 6 月 29 日) と JANS セミナーの同日開催についての検討
6. 入会審査における会員資格基準の改定について
7. 12 月社員総会の議事次第 (案)
8. 第 33 回学会総会の議事次第 (案)
9. 各委員会における予算執行状況 (~8 月)
10. 各委員会における事業の進捗状況
11. 入会希望者の承認
12. その他

平成 25 年度第 4 回理事会

日 時：平成 25 年 11 月 4 日(月) 13:00 ~16:45

場 所：日本看護科学学会事務所 (東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室)

出席者：理事 13 名 (Web 参加 2 名)、監事 1 名、第 33 回学術集会会長、第 34 回学術集会会長

〈報告事項〉

平成 25 年度第 3 回理事会議事録

〈審議事項〉

1. 第 33 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 34 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 第 36 回日本看護科学学会学術集会 (JANS36) の会長選出
4. 各委員会における平成 26 年度事業計画と予算案
5. 平成 25 年 12 月社員総会について
  - 1) 社員総会資料の確認
    - ① 平成 26 年度事業計画の承認
    - ② 平成 26 年度予算の承認
  - 2) シナリオ確認
6. 第 33 回学会総会の資料とシナリオ確認
7. 平成 25 年度第 3 回 JANS セミナーの準備状況
8. 各委員会における事業の進捗状況
9. 入会希望者の承認
10. その他

〈連絡事項〉

- JANS33 関連出張/出欠・宿泊希望の一覧
- 2013 年 12 月/JANS33 開催時期の各会議について …役員控室の変更

## 平成 25 年度第 5 回理事会

日 時：平成 25 年 12 月 5 日（木） 14：00 ～16：00

場 所：大阪国際会議場 8 階 805 会議室（大阪府大阪市北区中之島 5-3-51）

出席者：理事 13 名、監事 2 名、第 33 回学術集会会長

### 〈報告事項〉

平成 25 年度第 4 回理事会議事録

### 〈審議事項〉

1. 第 33 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 社員総会資料の最終確認
3. 社員総会／役割分担シナリオの最終確認
4. 学会総会資料の最終確認
5. 学会総会／役割分担シナリオの最終確認
6. 第 3 回 JANS セミナーの進捗状況
7. 各委員会における事業の進捗状況
8. 入会希望者の承認
9. その他

# 公益社団法人日本看護科学学会 社員総会活動状況

(平成 25 年 11 月 30 日～平成 25 年 12 月 5 日)

## 平成 25 年 6 月社員総会

日 時 平成 25 年 6 月 23 日 (日) 11:30～14:00

場 所 ベルサール神田

東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル 3F TEL:03-5281-3053

総社員数: 202 名

出席社員数: 159 名 (うち委任状 91 名)

### I. 開会

### II. 理事長挨拶

### III. 第33回日本看護科学学会学術集会会長の挨拶

### IV. 議長指名および議事録署名人の承認

### V. 報告事項

#### 1. 理事会および社員総会活動状況

#### 2. 総務報告

#### 3. 選挙管理委員会報告

#### 4. 平成24年度事業報告

##### (1) 第 32 回日本看護科学学会学術集会開催

##### (2) 第 33 回・第 34 回日本看護科学学会学術集会準備

##### (3) 和文誌の発行

##### (4) 英文誌の発行

##### (5) 看護学学術振興対策

###### ① 看護学学術用語の検討

###### ② 国際活動の推進

###### ③ 看護倫理の検討と啓発

###### ④ 研究成果の蓄積と活用

###### ⑤ JANS セミナー

##### (6) 学術研究論文の表彰

##### (7) 学会組織の強化・発展

###### ・将来構想に基づく新たな展開への準備

##### (8) 社会貢献活動

##### (9) 広報活動

##### (10) 災害看護支援事業

##### (11) 他機関との連携活動

###### ① 日本看護系学会協議会

###### ② 看護系学会等社会保険連合

###### ③ 日本学術会議

###### ④ 世界看護科学学会

###### ⑤ その他の機関

##### (12) 理事候補者選挙準備

##### (13) 30 周年記念事業

### VI. 審議事項

#### 1. 平成24年度決算の承認および会計監査の報告

#### 2. 理事選任案の承認

### VII. その他

### VIII. 閉会

## 平成 25 年 12 月 社員総会

日 時 平成 25 年 12 月 5 日 (木) 17:30~20:30

場 所 大阪国際会議場 12 階 特別会議場  
大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51 TEL:06-4803-5555

### I. 開会

### II. 理事長挨拶

### III. 第33回日本看護科学学会学術集会会長の挨拶

### IV. 議長指名および議事録署名人の承認

### V. 報告事項

#### 1. 理事会報告および社員総会報告

#### 2. 総務報告

#### 3. 委員会活動報告

##### 1) 総務委員会

##### 2) 和文誌編集委員会

##### 3) 英文誌編集委員会

##### 4) 研究・学術情報委員会

##### 5) 国際活動推進委員会

##### 6) 看護学学術用語検討委員会

##### 7) 看護倫理検討委員会

##### 8) 社会貢献委員会

##### 9) 表彰論文選考委員会

##### 10) 広報委員会

##### 11) 研究倫理審査委員会

##### 12) 災害看護支援事業専門委員会

##### 13) 学術振興事業検討委員会

##### 14) 他機関との連携活動

##### ① 日本看護系学会協議会

##### ② 看護系学会等社会保険連合

##### ③ 日本学術会議

##### ④ 世界看護科学学会

##### ⑤ その他の機関

### VI. 審議事項

#### 1. 平成26年度事業計画案の承認

#### 2. 平成26年度予算案の承認

#### 3. 名誉会員の承認

#### 4. 第36回日本看護科学学会学術集会会長の承認

### VII. 閉会



# 総務報告

## 1. 会員推移（平成25年4月1日～平成25年10月31日）

平成24年4月1日～平成25年3月31日（平成24年度）

- 1) 正会員数増減  
 (1) 平成24年4月1日正会員数  
 6,354名＝平成24年3月31日正会員数 6,667名 - 平成24年度資格喪失者 313名  
 (自主退会 145名、会費未納 168名)  
 (2) 平成24年度入会者  
 691名＝新規入会 632名 + 再入会 59名  
 (3) 平成24年度死亡喪失者 8名  
 2) 賛助会員増減 なし  
 3) 名誉会員増減  
 (1) 平成24年度承認 1名 薄井 坦子  
 (2) 平成24年度死亡喪失者 1名 見藤 隆子

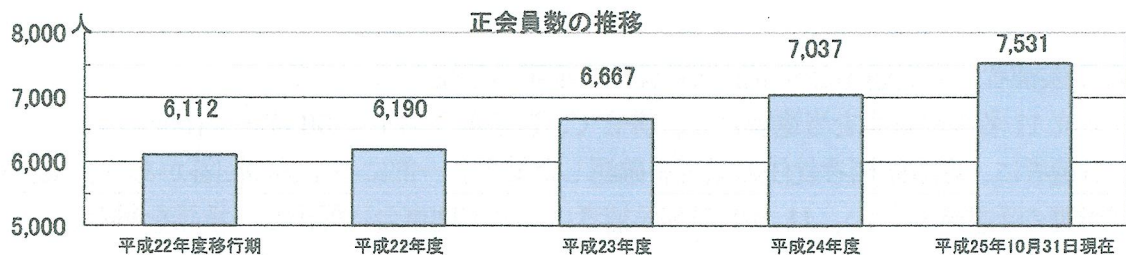
平成25年4月1日～平成25年10月31日

- 1) 正会員数増減  
 (1) 平成25年4月1日正会員数  
 6,713名＝平成25年3月31日正会員数 7,037名 - 平成25年度資格喪失者 324名  
 (自主退会 186名、会費未納 138名)  
 (2) 平成25年度の入会者  
 819名＝新規入会 739名 + 再入会 80名  
 (3) 平成25年度の死亡喪失者 1名  
 2) 賛助会員増減 なし  
 3) 名誉会員増減  
 平成25年度死亡喪失者 1名 高橋シュン  
 4) 平成25年10月31日現在 会員数  
 正会員 7,531  
 名誉会員 10  
 賛助会員 5  
 会員総数 7,546  
 山崎智子 松野かほる 氏家幸子  
 兼松百合子 林滋子 飯田澄美子  
 日野原重明 福岡文昭 樋口康子 薄井坦子  
 (株)医学書院 (株)へるす出版 (株)南江堂  
 (株)日本看護協会出版会 (有)ヌーヴェルヒロカワ

## 2. 地区別正会員数

地区	都道府県	正会員数	地区	都道府県	正会員数	地区	都道府県	正会員数			
北海道	北海道	333	北 陸	富 山	50	九州・沖縄	福 佐	岡 賀	386		
東 北	青 岩	森 手	44	201	福 井		45	長 崎	本 分	39	
		宮 城	132		東 海		静 岡	160	熊 本	53	
		秋 田	60	736			愛 知	313	大 宮	56	
470	山 形	福 島	60		近 畿		滋 賀	94	鹿 児 島	54	
		福 島	43	1278			京 都	197	沖 縄	84	
北 関 東	茨 城	木 馬	118		中 国・四国		鳥 取	32	宛先不明者		36
		栃 木	98	872			島 根	61	合 計		7,531
576	群 馬	玉 梨	126		中国・四国		岡 山	162	・名誉会員 10 ・賛助会員 5		
		埼 玉	234	鳥 島			山 口	220			
南 関 東	千 葉	神 奈 川	478		872	広 島	49				
		千 葉	326	東 京		山 德	61				
804	神 奈 川	山 梨	83		東 京	香 川	76				
		山 梨	111	1133		愛 媛	70				
甲 信 越	山 梨	新 潟	101		東 京	高 知	141				
		山 梨	101	東 京		外	17				
295	山 梨	東 京	1116								
		山 梨	101	外	17						

## 3. 正会員数の推移（年度別）



## 平成 24 年および 25 年選挙管理委員会報告

選挙管理委員会 太田勝正 (委員長)、小幡光子、武田利明、香春知永、藤田佐和

定款第 27 条にもとづく役員 (理事) 候補者の選出を行ったので、その経過等を報告する。

### 1. 理事候補者選挙について

平成 25 年度に就任する理事候補者の選挙 (監事については任期途中のため選挙を実施せず) を下記の要領で行った。なお、本選挙は、初めての試みとして Web を利用して行われた (以下、Web 選挙)。

#### 1) 選挙日程

- ・ 公示 : 平成 24 年 12 月 15 日 (土)
- ・ Web 選挙のための ID、パスワード、および、投票要領の送付 : 平成 25 年 1 月 15 日
- ・ Web 選挙の動作確認 : 平成 25 年 1 月 15 日 (火) から 31 日 (木) までの 17 日間
  - ▶ これに併せて、従来の投票用紙を用いた郵送による選挙方法 (以下、紙投票) の希望について意向確認を行った。
- ・ Web 選挙の予告 : 平成 25 年 2 月 1 日 (金) (本学会 HP に)
- ・ Web 選挙の開始 : 平成 25 年 2 月 7 日 (木) 9 : 00
  - ▶ 紙投票については、投票用紙を平成 25 年 2 月 4 日 (月) に発送し、同 2 月 25 日 (月) (当日消印有効) までに到着した分を有効とした。
- ・ Web 選挙の締め切り : 平成 25 年 2 月 28 日 (木) 23 : 59 まで
- ・ 開票 : 平成 25 年 3 月 1 日 (金) 11 : 00
- ・ 開票立会人 : 前田樹海先生 (東京有明医療大学看護学部)
- ・ 役員候補者名簿および次点者名簿の理事会への提出 : 平成 25 年 5 月 12 日 (日)

#### 2) 投票結果について

締め切り期間までに届いた紙投票については、有効性を確認の後、投票者が判らないようにシャッフルをし、Web 選挙の代理投票システムを用いて投票結果を Web 選挙に集約した。その後、Web 選挙システムにより、開票作業を行った。

- ・ 有権者数 (代議員数) 202 名
- ・ 理事候補者被選挙数 198 名 (3 期連続理事 2 名および監事 2 名を除く)
- ・ 投票総数 142 件 (紙投票 2 件を含む)
- ・ 投票率 70.3%
- ・ 有効数 理事 142 件 (無効票 0 件)

#### 3) 理事候補者の当選通知と理事候補者就任の承諾の手続きについて

上位 11 名の得票者を当選者とし、併せて、次点者リストを 50 位まで作成した。

当選者に、理事候補者就任の諾否を確認した結果、一部に不承諾の回答があり、順次繰り上げ当選の手続きを行い、11 名の理事候補者について理事会に提出し、承諾を得た。

#### 4) 理事候補者選挙の総括

- ・ 紙投票を希望したものは202名中4名であり、Web選挙の運用に特段の問題は無かったと思われた。
- ・ Web選挙の期間は約3週間であったが、投票率ははじめの1週間で約40%、次の1週間で約55%と出足が鈍かった。このため、4回のリマインドを登録メールアドレス宛に送り、最終的に約70%の投票率となった。
- ・ 前回の理事候補者選挙（従来型の紙投票）の最終投票率の約80%には及ばなかったが、概ね予想通りの投票率となり、今後の選挙においてもWeb選挙は運用可能であろうと思われた。
- ・ 当選者からの理事候補者就任辞退の回答が、選挙によって選ばれる人数（11名）の50%を超える数となった。これは、前回の理事候補者選挙でも同様の結果であった。
- ・ 今回のWeb選挙の結果を踏まえて、今後の代議員選挙および役員候補者選挙の進め方について、更なる検討を期待する。

以上

公益社団法人日本看護科学学会 平成25年度委員会名簿および分掌事項

委員会	役職	氏名	会務分掌
総務	委員長	高橋 眞理 和住 淑子 藤井 徹也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員管理</li> <li>・入会審査</li> <li>・学会事務所の運営（総務会にて検討）</li> </ul>
	委員長	萱間 真美 吉沢 豊予子 浅野 みどり 牛久保 美津子 遠藤 淑美 大久保 暢子 佐伯 圭一郎 佐伯 由香子 酒井 明子子 佐藤 紀子子 諏訪 さゆり 竹崎 久美子子 西村 真実子子 野地 有子子 林 千冬子子 眞嶋 朋子子 宮本 有紀美 会 計 小野 智美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌の発行（年4号以上）</li> <li>・学会誌への投稿の促進</li> <li>・査読システムの改良</li> <li>・論文電子化に伴う著作権の整備（機関リポジトリへの対応）</li> <li>・表彰論文選考への参画</li> <li>・オンラインジャーナルの推進</li> </ul>
英文誌編集	編集長 委員長	William L. Holzemer グレッグ 美鈴 山本 あい子 安部 陽子 石原 逸子 和泉 成子 岡田 彩子 小澤 三枝子 北岡 和代子 佐々木 美奈子 田代 順子子 永田 智子子 中村 美鈴子 野口 眞弓子 深井 喜代子 法橋 尚宏子 堀内 成子子 前田 ひとみ子 眞壁 玲子子 丸山 昭子美 会 計 江藤 宏美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文誌（オンライン版）の出版（年4号）（2014年から）</li> <li>・英文誌の発行（年2号）・オンラインジャーナルの推進（2013年まで）</li> <li>・査読システムの整備</li> <li>・投稿論文促進のための広報活動</li> <li>・インパクトファクター向上のための活動</li> <li>・和文誌編集委員会との協働</li> <li>・表彰論文選考への参画</li> </ul>
	委員長	吉沢 豊予子 岡谷 恵子子 柏木 聖代子 河野 あゆみ子 高見沢 恵美子 奈良間 美保子 西村 ユミ子 深堀 浩樹子 宮下 光令子 会 計 跡上 富美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内外の看護学研究に関する情報の収集、整理、発信</li> <li>・研究成果が診療報酬に適切に反映できるような活動の推進</li> </ul>
国際活動推進	委員長	中山 洋子子 近藤 暁子子 近藤 麻理子子 清田 水安子子 田代 順子子 南 裕子子 会 計 神原 咲子子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な看護学研究機関とのネットワークの構築</li> <li>・世界看護科学学会事務局業務</li> </ul>

委員会	役職	氏名	会務分掌
看護学 学術用語 検討	委員長	小板橋 喜久代 大森 純子 大島 弓子 柏木 公一 佐藤 和佳子 新田 なつ子 山田 覚奈	・看護学学術用語に関する現状と展望の検討
	会計	石丸 美奈	
看護倫理 検討	委員長	麻原 きよみ 安藤 広子 小野 美喜子 小西 恵美子 百瀬 由美子 八尋 道子 三森 寧子	・研究者のモラル向上に向けた活動 ・看護学研究における倫理審査体制の構築 ・看護学が関連する研究・教育・臨床における倫理的課題の整理 および即時的対応 ・看護学が関連する倫理的社会的社会事象に対する情報収集・提供と、 学会としての対応案の検討
	会計		
社会貢献	委員長	武田 祐子 井上 智子 近藤 まゆみ 佐久間 清美子 佐々木 綾子 福田 紀子 藤屋 リカ	・一般市民に向けた活動 ・看護学を通じた社会への貢献およびその方策の検討・普及 ・学術集会開催時の他に社会貢献の実績を残す（市民公開講座、出版等） ・次世代の育成事業
	会計		
表彰論文 選考	委員長	宮崎 美砂子 萱間 真美 グレッグ 美鈴 上野 昌江 大塚 眞理子 神田 清子 谷本 眞理子 本田 彰子	・和文誌・英文誌投稿論文からの表彰候補論文選考作業の円滑な運営 ・学会としての表彰論文の推薦 ・看護学への功績（学問の体系化等）のある人への表彰についての検討 ・他団体からの表彰に該当する候補者の推薦
	会計		
広報	委員長	酒井 郁子 清水 安子 林 直子 藤田 冬子 渡辺 かづみ 綿貫 成明 黒河内 仙奈	・ホームページ（JANS/WANS）の維持・管理・改善 ・学会活動の広報（委員会成果物のHP掲載等） ・学術集会の広報（プレスリリース等） ・WANS本部・WANS学術集会の広報 ・学術集会の記録
	会計		
研究倫理 審査	委員長	田村 やよひ 勝原 裕美子 佐居 由美子 掛江 直子 隈本 邦彦	・学会員による人を対象とした看護研究が、倫理的配慮のもとに 行われるかどうかを審査
	外部委員 外部委員 外部委員		
災害看護 専門支援	委員長	山本 あい子 武田 祐子 麻原 きよみ 田中 美恵子 佐々木 吉子 駒形 朋子	災害看護活動を支援するために以下の事項について協議及び審議を行う。 ・募金に関する事項 ・広報に関する事項 ・災害看護支援金の申請者等の選定の審査に関する事項 ・その他必要な事項
	会計		
学術振興 事業	委員長	田村 やよひ 安酸 史子 吉沢 豊予子 太田 喜久子 西村 ユミ 古在 豊樹	・今後の40周年に向けて、公益社団法人としての学術振興の中・長期的 活動方針を企画検討する。 ・公益社団法人としての社会貢献に向けた公益事業を検討する。 ・アンブレラ学会として看護学の発展への貢献活動を検討する。 （平成25年4月1日より活動開始）※2年間の時限的委員会
	外部委員		
選挙管理	委員長	太田 勝正子	・理事会からの委嘱により組織し、代議員および役員候補者選挙を行う。 （平成25年理事候補者選挙終了までの委員）
	副委員長 書記 庶務補佐	小幡 光子 武田 利明 香春 知永 藤田 佐和	

## 委員会活動報告

### 1) 総務委員会

- ・ 入会審査の理事会報告、及び会員のデータ管理を行っている。会員管理については、オンラインシステム、会員自身のマイページの利用（延べ2,113件・平成24年11月28日～平成25年9月5日現在）とともに順調に稼働している。
- ・ 会員への迅速な情報伝達、また選挙のWeb化の運用等、登録されている会員のメールアドレスによる配信も活用されている。なお、現メールアドレスの登録状況は7,032件であり、約400件が到着確認がとれていない状況である。
- ・ 会員数は、7,546名（平成25年10月31日現在）であり、昨年度7,034名より順調に増加している。
- ・ 事務所運営の効率化を図るため、会議スペースと執務スペースを区分けするようレイアウトを変更した。
- ・ 学会事務所職員の勤務内容の把握、調整、面談を適宜行い、事務所ミーティングを定例で行った。
- ・ 定例社員総会準備を行った。
- ・ 各理事会、社員総会の議事の記録を担当した。

### 2) 和文誌編集委員会

- ・ 和文誌編集委員会を2回（平成25年4月20日、8月6日）開催した。
- ・ 日本看護科学会誌第33巻第1号、33巻第2号、33巻第3号を発行し、それぞれ会員7,070名、7,025名、7,620名に頒布した。
- ・ 和文誌完全電子ジャーナル化へむけて移行計画を実施、具体化した。

2013年：年4回冊子発行+J-STAGEで電子ジャーナル公開（年4回）

2014年：年1回冊子発行+電子ジャーナル刊行（ページ数と価格の検討）

現在の会員外の冊子体定期購読者もJ-STAGEからのオンライン閲覧ができるよう契約内容を検討し、2014年度契約分よりオンライン閲覧を可能とし、周知をはかった。

2015年：電子ジャーナル刊行（随時、論文単位で）+印刷版の有無と別刷り価格を2014年度中に会員への意向調査を行って決定することとした。

オンラインへの随時掲載に関する費用と実施体制の検討を行った。

- ・ 専任査読委員制度の実効性を高めるため、任期満了および新規就任者の検討と依頼を行った。

- ・ 投稿種別の検討（原著の定義、研究報告の扱い）を開始した。
- ・ オンライン査読のスピードアップに関する検討と試行を実施した。
- ・ 機関リポジトリへの掲載依頼に対応した（1件）。

### 3) 英文誌編集委員会

- ・ Holzemer 編集長が来日のもと、英文誌編集委員会を1回開催した。
- ・ Japan Journal of Nursing Science Vol.9 No.2 (2012年12月)と Vol.10 No.1 (2013年6月)を発刊し、それぞれ7,080名と7,010名に頒布した (Vol.9 No.1からは+375)。
- ・ Vol.10 No.2が冊子体の最終号となるため、JJNS 発刊10周年記念号と位置付け、通常の投稿論文以外に寄稿を依頼し、掲載することとした。
- ・ 2012年10月27日に啓発活動としてのセミナー“Improving Your Success at Publishing in English”を開催した。参加者85名で、好評であった。
- ・ 学会員の投稿を促すため、編集長・編集委員長の手紙とともにサンプル誌を博士後期課程のある71の大学院に送付した。
- ・ 2012年度の impact factor は、0.583 と上昇した。

### 4) 研究・学術情報委員会

- ・ 研究・学術情報委員会を1回開催した。Webにて3名の委員が参加し、全員参加の会議となった。またメール会議を適宜開催し、情報の共有および協議を行った。
- ・ 看護系学会等社会保険連合（看保連）関連委員会に出席した。
- ・ 平成24年度に行った「若手看護系研究者調査」の報告書を作成、HP公開と看護系大学院長宛てに報告書を送付した。
- ・ 「若手看護系研究者調査」を基に、1本の論文を投稿した。
- ・ 平成25年6月第2回JANSセミナーを企画した。
- ・ 若手アカデミー発足に向けて、若手アカデミー企画メンバーが第33回日本看護科学学会学術集会で交流集會を持った。

## 5) 国際活動推進委員会

- ・ 世界看護科学学会（World Academy of Nursing Science : WANS）の事務局としての業務を行うとともに、平成25（2013）年10月18日に韓国SeoulのThe K-Seoul Hotelで開催された第3回WANS学術集会（会長Dr. Nam Cho Kim, Korean Society of Nursing Science）の開催を支援した。また、学術集会ではブースを設け、広報委員会と協力してWANSの広報活動を行った。
- ・ WANSのホームページを充実させるために内容の検討を行い、更新する準備をしている。
- ・ 異文化データベースを見直して情報の更新や修正を行い、活用しやすいものになるよう検討している。
- ・ 看護学のグローバルスタンダードや国際活動のあり方について討議をしている。

## 6) 看護学学術用語検討委員会

- ・ 看護学学術用語検討委員会を2回開催した。
- ・ これまでに検討された看護学学術用語の成果物を元に、さらなる学術用語の体系化のために、ISO（学術用語作成のための国際標準マニュアル）に沿って作業を開始した。なお、本会で取り上げる学術用語の範囲は、看護学の研究・教育・実践に活用されるものであり、看護学を構成する共通用語あるいは、核的な用語とする。

## 7) 看護倫理検討委員会

- ・ 看護倫理検討委員会を2回開催した。
- ・ 今期の委員会活動計画を立案した。
- ・ 倫理審査の対象に関するガイドライン作成のために、国内外の文献・資料の検討と専門家へのヒヤリングを行った。

## 8) 社会貢献委員会

- ・ 社会貢献委員会を1回開催し、その後はメール会議を適宜開催し、情報の共有および協議を行った。
- ・ 第33回、第34回学術集会企画委員会に参加し、本委員会による企画に関する連携を促進した。
- ・ 第33回学術集会開催時の企画として、市民フォーラムはテーマを「ほんまかいな！笑いの力で健康増進」とし、笑いの医学的効用、笑い看護について、理解を深めていただき、実際に『笑いヨガ』を体験頂くように企画した。中・高校生を対象としたナースィング・サイエンス・カフェは、テーマを「めざせ看護職！先輩が語る看護の仕事とその魅力」とし、準備を進めてきた。また、広報委員会と連携し、企画



の広報に努めた。

- ・ 企画開催当日に委員会を開催し、実施準備、両企画評価、来年度企画案等について、検討していくこととした。

## 9) 表彰論文選考委員会

- ・ 表彰論文選考委員会を2回（8月及び10月）開催した（対面会議とWeb会議を併用）。
- ・ 第1回委員会（8月31日）にて表彰論文選考方針、選考基準、選考手順を決定した。
- ・ 委員会にて優秀賞候補3論文（和文2論文、英文1論文）および奨励賞候補3論文（和文3論文）を絞り込み、これらについて、平成25年9月中旬に全代議員202名に採点を依頼した。
- ・ 10月25日までに返信された70通について評価点の集計を行った（回収率34.7%）。
- ・ 第2回委員会（10月31日）にて集計結果に基づき最終選考を行い、以下のように優秀賞論文1編、奨励賞論文2編を決定し、理事会（11月4日）に報告し、承認を得た。

### 【優秀賞】

Nobuko OKUBO :

Effectiveness of the “Elevated Position” Nursing Care Program in promoting the reconditioning of patients with acute cerebrovascular disease. Japan Journal of Nursing Science, 9(1), 76-87, 2012.

### 【奨励賞】

角田秋, 柳井晴夫, 上野桂子, 木全真理, 瀬尾智美, 船越明子, 萱間真美 :

精神科訪問看護ケアの類型化の検討—訪問看護ステーションが統合失調症を有する人へ提供するケアの類型と対象の特性—, 日本看護科学会誌, 32 (2), 3-12, 2012.

### 【奨励賞】

布谷（吹田）麻耶, 鎌倉やよい, 深田順子, 熊澤友紀 :

クローン病患者への食事指導プログラムの開発と有効性の検証, 日本看護科学会誌, 32 (3), 74-84, 2012.

## 10) 広報委員会

- ・ 広報委員会は必要に応じてメール等により活動した。3月に委員会開催予定である。前年度に連携手順、業務マニュアルを作成したことにより、活動の効率化が行われたため、委員会開催数を減少することができた。
- ・ 第33回学術集会企画委員会との連携による広報活動を行った。具体的にはプレスリリース（新聞社、ラジオ局、テレビ局）、記録などである。
- ・ 社会貢献委員会との連携による、市民フォーラムおよびナーシング・サイエンス・カフェ広報媒体を作

成した。

- ・ 国際活動推進委員会との連携による、第3回 WANS 学術集会での JANS 広報を行った。
- ・ 学会 HP の内容の更新、整理を行った。
- ・ 第34回学術集会企画委員会に参加し連携を促進した。

## 11) 研究倫理審査委員会

- ・ 審議すべき事案が申請されなかったため、委員会は開催されなかった。

## 12) 災害看護支援事業専門委員会

### 採択事業の詳細およびその経過

- ・ 平成24年度災害看護支援金による助成事業の募集を行い、8件の応募（助成希望額の総額は5,503,680円）があった中から、平成24年度災害看護支援事業専門委員が看護支援事業規程第7条並びに応募要項の採択基準に基づいて厳正に審査を行った結果、平成25年度分として以下の4件を採択した。助成金の総額は、2,818,240円（最高995,000円、最低423,240円）であった。
  - ① 東日本大震災および福島原発事故により茨城県に避難している母子の支援活動  
（代表者・渋谷えみ氏）
  - ② 宮城大学看護学生・教職員による南三陸町に在住する高齢者への健康支援活動の充実強化  
（代表者・佐々木久美子氏）
  - ③ 元気な高齢者を増やす取組み（代表者・川嶋みどり氏）
  - ④ 復興の力、コミュニティ再建のための中長期支援～はまってけらいん（集まって）かだってけらいん（語って）を合い言葉に～（代表者・尾山とし子氏）
- ・ 平成25年9月末に事業の進捗状況について中間報告の提出を受け、事業が順調に実施されていることを確認した。
- ・ 本事業は日本看護系学会協議会（JANA）との共催で実施しているため、平成24年度助成事業の最終報告書、収支報告書及び平成24年度助成事業の中間報告書を JANA に提出した。
- ・ 【予定】第33回日本看護科学学会学術集会において交流集会を企画し、学会内での本事業への認知度を向上すること、および募金の促進を目指す。  
（日時：12月7日（土）10:00-11:00（予定）、発表者：H23,24年度採択事業の中から4件）
- ・ 【予定】第33回日本看護科学学会学術集会の2日間、チラシ（資料1）の配布と募金箱設置、総会でのスライド（資料2）使用による呼びかけにより、ワンコイン募金活動を実施予定である。目標額100万円とし、参加者に広く協力をよびかける。また JANS 理事に協力をお願いし、各専門分野の学会からの

支援も依頼する。また、企業等に寄付を依頼する

- ・ 【予定】平成26年3月初旬に、平成26年度災害看護事業助成金申請の募集を開始する。

### 13) 学術振興事業検討委員会

- ・ 将来構想委員会の提言に基づいて、本会における学術振興について深く検討するため、5月、11月に2回会議を開催した。
- ・ 今後の活動の方向性として3点が挙げられ、検討を行った。
  - ① JANSのNursing Academyとしての特性や組織力を生かした活動
  - ② 若手看護学研究者アカデミーの組織化
  - ③ Up to Dateな政策提言

### 14) 他機関との連携活動

#### ① 日本看護系学会協議会

- ・ 平成25年6月17日(月)、平成25年度総会が日本赤十字看護大学 広尾ホールで開催され、小松前理事長、田代前副理事長が出席した。総会において、3学会(日本母子看護学会、運動器看護学会、日本公衆衛生看護学会)の新入が承認され、計41学会となった。

本年度の新規活動として、日本学術会議・学術組織との交流・相互協力の事業として「看護ケアガイドライン開発推進プロジェクト」が承認され、今年度各学会の現状確認することが承認された。新規事業として、(1)日本看護系協議会の在り方検討会の立ち上げ、(2)役員選出に関する検討プロジェクトを立ち上げることが承認された。

本学会、小松前理事長より東日本大震災支援事業の事業費確保のため、各学会へ募金の取り組みを依頼した。

総会后、「看護学領域における外部資金獲得のために」と題して、講演会がなされた。

#### ② 看護系学会等社会保険連合

- ・ 新しく役員が選出され、第1回理事会で代表理事が井部俊子氏、副代表2名のうち1名に日本看護科学学会推薦の岡谷恵子氏(研究・学術情報委員会委員)が選出された。
- ・ 看保連の助成金に対し、日本看護科学学会から推薦した研究計画が採択された。
- ・ 管理費負担金のあり方が検討されてきたが、平成26年度より本学会は7万円支払うこととなった。
- ・ 診療報酬の適正評価のための看護ケア技術体系化の調査が各学会に行われていたが、看護技術の体系化

の検討が本格的に始まっている。

- ・ 看護技術検討委員会では2014年度に実施される次回の診療報酬改定に向け、「医療技術評価提案書」の取りまとめが行われ、未収録14件、既収録9件の医療技術提案書が厚生労働省に提出された。今後、医療技術評価分科会で検討される予定。

### ③ 日本学術会議

- ・ 日本学術会議から提供のあった日本学術会議ニュース・メールを役員に提供した。

### ④ 世界看護科学学会

- ・ 国際活動推進委員会は、JANS から理事会の理事長 (Chairperson, Board of Directors) を出しているために、WANS 事務局を担っている。平成 25 年度は、10 月 17 日に韓国 Seoul の The K-Seoul Hotel で理事会を開催し、10 月 18 日に第 3 回 WANS 学術集会 (大会長 Dr. Nam Cho Kim, Korean Society of Nursing Science) を開催した。
- ・ 第 3 回 WANS 学術集会の参加者は以下のとおりである。

	WANS 参加者数	WANS 演題数	
		Oral	Poster
Korea	200	5	79
Japan	360	16	246
Overseas	20	11	5
Total	580	32	330

Overseas の国名 : Australia, Canada, China, Egypt, Malaysia, Philippines, Singapore, Taiwan, Thailand, USA

- ・ 平成 25 (2013) 年 10 月 17 日の理事会での決定事項と検討課題は以下の通りである。
  - 1) 第 4 回 WANS 学術集会は、平成 27 (2015) 年 10 月に Iris Meyenburg-Altwarz 氏を大会長としてドイツ Hannover にて開催することが決まった。
  - 2) 平成 25 (2013) 年 12 月 31 日で任期が終わる理事長については JANS からの南裕子氏が次期

(平成26(2014)年1月～平成27(2015)年12月)も継続することが決まった。副理事長は、第4回WANS 学術集会会長 Iris Meyenburg-Altwarz 氏が就任する。

- ・ 課題となっていたWANSの会員拡大と参加費について理事会で議論され、現在、事務局を担うために必要となっている予算をJANSが把握、報告したうえで、会費を徴収するかどうか等について検討することになった。
- ・ ホームページを充実させるために内容の検討を行い、更新する準備をしている。

#### ⑤ その他の機関

- ・ 厚生労働省による関係学会を対象とした意見募集「指定研修における行為群(案)～行為群に対するその他のご意見」について、7月臨時理事会(7月15日)で審議された内容、および理事会後に役員からメールで寄せられた意見を田村理事長、安酸副理事長、事務所で取りまとめ、提出期限の8月5日(月)に厚生労働省へメールで提出した。

貸借対照表  
平成 25年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	76,662,373	74,437,097	2,225,276
未収会費	1,380,000	1,672,000	△ 292,000
未収金	389,013	2,183,726	△ 1,794,713
たな卸資産	193,568	174,469	19,099
前払費用	1,786,835	1,328,294	458,541
流動資産合計	80,411,789	79,795,586	616,203
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
選挙積立預金	1,362,252	1,987,601	△ 625,349
退職給付引当資産	2,184,239	1,580,208	604,031
寄附積立資産	20,000	300,000	△ 280,000
災害看護支援資産	2,085,957	3,466,752	△ 1,380,795
特定資産合計	5,652,448	7,334,561	△ 1,682,113
(3) その他固定資産			
什器備品	313,145	384,695	△ 71,550
ソフトウェア	162,433	407,923	△ 245,490
一括償却資産	68,988	43,634	25,354
電話加入権	72,030	72,030	0
保証金	1,400,000	1,400,000	0
長期前払費用	0	105,585	△ 105,585
その他固定資産合計	2,016,596	2,413,867	△ 397,271
固定資産合計	7,669,044	9,748,428	△ 2,079,384
資産合計	88,080,833	89,544,014	△ 1,463,181
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	233,151	△ 233,151
前受会費	16,850,000	16,150,000	700,000
未払費用	2,559,409	2,608,814	△ 49,405
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	600,600	398,700	201,900
前受金	0	1,646,500	△ 1,646,500
預り金	236,972	171,428	65,544
仮受金	0	10,000	△ 10,000
流動負債合計	20,316,981	21,288,593	△ 971,612
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,184,239	1,580,208	604,031
固定負債合計	2,184,239	1,580,208	604,031
負債合計	22,501,220	22,868,801	△ 367,581
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	72,926,624	72,926,624	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 指定正味財産			
寄付金	2,105,957	3,766,752	△ 1,660,838
指定正味財産合計	2,105,957	3,766,752	△ 1,660,795
(うち特定資産への充当額)	(2,105,957)	(3,766,752)	(△1,660,795)
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	△ 9,452,968	△ 10,018,163	565,195
一般正味財産合計	△ 9,452,968	△ 10,018,163	565,195
(うち特定資産への充当額)	(1,362,252)	(1,987,601)	(△625,349)
正味財産合計	65,579,613	66,675,213	△ 1,095,600
負債及び正味財産合計	88,080,833	89,544,014	△ 1,463,181

貸借対照表内訳表  
平成 25年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会 計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
<b>1. 流動資産</b>					
現金預金	0	0	76,662,373	0	76,662,373
未収会費	0	0	1,380,000	0	1,380,000
未収金	289,013	100,000	0	0	389,013
たな卸資産	193,568	0	0	0	193,568
前払費用	1,681,250	0	105,585	0	1,786,835
他会計短期貸付金	0	0	24,787,954	△ 24,787,954	0
流動資産合計	2,163,831	100,000	102,935,912	△ 24,787,954	80,411,789
<b>2. 固定資産</b>					
(1)基本財産					
基本財産合計	0	0	0	0	0
(2)特定資産					
選挙積立預金	0	0	1,362,252	0	1,362,252
退職給付引当資産	0	0	2,184,239	0	2,184,239
寄附積立資産	20,000	0	0	0	20,000
災害看護支援資産	2,085,957	0	0	0	2,085,957
特定資産合計	2,105,957	0	3,546,491	0	5,652,448
(3)その他固定資産					
什器備品	115,730	7,565	189,850	0	313,145
ソフトウェア	0	0	162,433	0	162,433
一括償却資産	0	0	68,988	0	68,988
電話加入権	0	0	72,030	0	72,030
保証金	0	0	1,400,000	0	1,400,000
その他固定資産合計	115,730	7,565	1,893,301	0	2,016,596
固定資産合計	2,221,687	7,565	5,439,792	0	7,669,044
<b>資産合計</b>	<b>4,385,518</b>	<b>107,565</b>	<b>108,375,704</b>	<b>△ 24,787,954</b>	<b>88,080,833</b>
<b>II 負債の部</b>					
<b>1. 流動負債</b>					
前受会費	0	0	16,850,000	0	16,850,000
未払費用	0	0	2,559,409	0	2,559,409
未払法人税等	0	70,000	0	0	70,000
未払消費税等	0	0	600,600	0	600,600
預り金	0	0	236,972	0	236,972
他会計短期借入金	21,381,374	3,406,580	0	△ 24,787,954	0
流動負債合計	21,381,374	3,476,580	20,246,981	△ 24,787,954	20,316,981
<b>2. 固定負債</b>					
退職給付引当金	0	0	2,184,239	0	2,184,239
固定負債合計	0	0	2,184,239	0	2,184,239
<b>負債合計</b>	<b>21,381,374</b>	<b>3,476,580</b>	<b>22,431,220</b>	<b>△ 24,787,954</b>	<b>22,501,220</b>
<b>III 正味財産の部</b>					
<b>1. 基金</b>					
基金	0	0	72,926,624	0	72,926,624
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
<b>2. 指定正味財産</b>					
寄付金	2,105,957	0	0	0	2,105,957
指定正味財産合計	2,105,957	0	0	0	2,105,957
(うち特定資産への充当額)	(2,105,957)	(0)	(0)	(0)	(2,105,957)
<b>3. 一般正味財産</b>					
(1)代替基金	0	0	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 19,101,813	△ 3,369,015	13,017,860	0	△ 9,452,968
一般正味財産合計	△ 19,101,813	△ 3,369,015	13,017,860	0	△ 9,452,968
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(1,362,252)	(0)	(1,362,252)
<b>正味財産合計</b>	<b>△ 16,995,856</b>	<b>△ 3,369,015</b>	<b>85,944,484</b>	<b>0</b>	<b>65,579,613</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>4,385,518</b>	<b>107,565</b>	<b>108,375,704</b>	<b>△ 24,787,954</b>	<b>88,080,833</b>

正味財産増減計算書

平成 24年 4月 1日 から平成 25年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	661	438	223
受取会費			
正会員受取会費	70,450,000	66,710,000	3,740,000
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0
受取会費計	70,750,000	67,010,000	3,740,000
事業収益			
学会誌収益	2,304,289	2,204,476	99,813
学術集会収益	37,923,000	27,894,000	10,029,000
広告販売収益	10,232,711	6,340,000	3,892,711
事業収益計	50,460,000	36,438,476	14,021,524
受取寄付金			
受取寄付金	1,020,000	1,040,000	△ 20,000
助成金収益	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取寄付金振替額	3,118,240	1,648,550	1,469,690
受取寄付金計	4,138,240	3,688,550	449,690
雑収益			
受取利息	4,646	3,020	1,626
著作権料収益	383,270	265,775	117,495
懇親会収益	538,000	1,183,000	△ 645,000
雑収益	1,724,000	298,000	1,426,000
雑収益計	2,649,916	1,749,795	900,121
経常収益計	127,998,817	108,887,259	19,111,558
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	173,202	182,089	△ 8,887
和文誌発行費	12,540,425	10,948,162	1,592,263
英文誌発行費	16,658,907	14,675,085	1,983,822
学術集会プログラム・案内	5,196,970	4,540,200	656,770
期末たな卸高	△ 193,568	△ 174,469	△ 19,099
給料手当	5,753,186	5,529,655	223,531
臨時雇賃金	196,200	641,778	△ 445,578
賞与	267,739	190,961	76,778
退職給付費用	237,828	188,729	49,099
福利厚生費	698,619	579,213	119,406
旅費交通費	2,866,223	4,570,977	△ 1,704,754
通信運搬費	1,256,102	2,142,179	△ 886,077
減価償却費	28,173	35,579	△ 7,406
消耗品費	358,721	1,548,105	△ 1,189,384
修繕費	12,403	24,333	△ 11,930
印刷製本費	6,627,482	3,903,007	2,724,475
慶弔費	0	8,475	△ 8,475
光熱水料費	246,608	216,869	29,739
貸借料	1,809,122	1,801,930	7,192
保険料	2,774	2,774	0
諸謝金	918,104	181,107	736,997
租税公課	600,600	398,700	201,900
支払負担金	0	240,411	△ 240,411
支払助成金	2,818,240	1,628,550	1,189,690
委託費	10,099,843	4,627,614	5,472,229
会議費	1,237,302	1,546,990	△ 309,688
表彰費	118,925	86,615	32,310
渉外費	0	115,000	△ 115,000
会場費	28,365,975	16,962,275	11,403,700
通勤手当	511,305	533,675	△ 22,370
懇親会費	720,114	1,120,000	△ 399,886
雑費	795,738	871,664	△ 75,926
事業費計	100,923,262	79,868,232	21,055,030
管理費			
給料手当	8,858,634	8,197,250	661,384
賞与	412,261	294,039	118,222



科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
臨時雇賃金	118,000	162,750	△ 44,750
退職給付費用	366,203	290,599	75,604
福利厚生費	1,075,720	891,859	183,861
会議費	3,810,640	3,632,954	177,686
渉外費	10,290	9,525	765
旅費交通費	653,717	490,203	163,514
通信運搬費	1,203,816	1,465,017	△ 261,201
減価償却費	366,994	427,197	△ 60,203
通勤手当	787,295	821,745	△ 34,450
消耗品費	581,699	655,914	△ 74,215
修繕費	19,097	37,467	△ 18,370
印刷製本費	29,028	18,747	10,281
慶弔費	65,717	13,050	52,667
光熱水料費	379,724	333,930	45,794
賃借料	2,785,650	2,774,577	11,073
保険料	4,270	4,270	0
諸謝金	0	32,340	△ 32,340
租税公課	55,111	3,137	51,974
支払負担金	280,000	280,000	0
委託費	2,391,419	3,080,812	△ 689,393
資格喪失者会費	1,420,000	540,000	880,000
雑費	763,808	758,741	5,067
管理費計	26,439,093	25,216,123	1,222,970
経常費用計	127,362,355	105,084,355	22,278,000
評価損益等調整前当期経常増減額	636,462	3,802,904	△ 3,166,442
当期経常増減額	636,462	3,802,904	△ 3,166,442
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
前期たな卸高修正益	0	67,210	△ 67,210
経常外収益計	0	67,210	△ 67,210
(2) 経常外費用			
固定資産除却損失			
什器備品除却損	0	1,669	△ 1,669
その他の経常外費用			
前期たな卸高修正損	1,267	0	1,267
経常外費用計	1,267	1,669	△ 402
当期経常外増減額	△ 1,267	65,541	△ 66,808
税引前当期一般正味財産増減額	635,195	3,868,445	△ 3,233,250
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	565,195	3,798,445	△ 3,233,250
一般正味財産期首残高	△ 10,018,163	△ 13,816,608	3,798,445
一般正味財産期末残高	△ 9,452,968	△ 10,018,163	565,195
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	1,457,100	5,395,000	△ 3,937,900
受取利息	345	302	43
受取寄付金計	1,457,445	5,395,302	△ 3,937,857
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,118,240	△ 1,648,550	△ 1,469,690
当期指定正味財産増減額	△ 1,660,795	3,746,752	△ 5,407,547
指定正味財産期首残高	3,766,752	20,000	3,746,752
指定正味財産期末残高	2,105,957	3,766,752	△ 1,660,795
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	72,926,624	72,926,624	0
基金期末残高	72,926,624	72,926,624	0
IV 正味財産期末残高	65,579,613	66,675,213	△ 1,095,600

科 目	公益目的事業会計						収益事業等会計						法人会計	内部取引消去	合計
	学術振興事業	学会誌事業	学術集会事業	市民講座等事業	災害看護支援事業	共通	小計	広告販売事業	連携事業	共通	小計	法人会計			
1. 経常増減の部															
(1) 経常増減の部															
特定資産運用利益															
受取資産受取利息															
受取会費															
正会員受取会費															
賛助会員受取会費															
受取会費計															
事業収益計															
学術振興事業															
学会誌事業															
学術集会事業															
市民講座等事業															
災害看護支援事業															
共通															
小計															
広告販売事業															
連携事業															
共通															
小計															
法人会計															
内部取引消去															
合計															
2. 経常費用															
(2) 経常費用															
事業費															
期首たな卸高															
和文誌発行費															
英文誌発行費															
学術集会プログラム・案内															
期末たな卸高															
給料手当															
臨時雇賃金															
賞与															
退職給付費用															
福利厚生費															
旅費交通費															
通信運搬費															
減価償却費															
消耗品費															
修繕費															
印刷製本費															
光熱水料費															
賃借料															
保険料															
諸謝金															
租税公課															
支払助成金															
委託費															
会議費															
表彰費															
会費															
通動手当															
懇親会費															
雑費															
事業費計															

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					内部取 引消去	合計	
	学術振興事業	学術集金事業	市民講座等 事業	災害看護支援 事業	共通	小計	広告販売事業	連携事業	共通	小計			法人会計
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,858,634	0	8,858,634
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	412,261	0	412,261
賞与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118,000	0	118,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	366,203	0	366,203
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,075,720	0	1,075,720
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,810,640	0	3,810,640
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,290	0	10,290
旅外費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	653,717	0	653,717
交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,203,816	0	1,203,816
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	366,994	0	366,994
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	787,295	0	787,295
通働手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	581,699	0	581,699
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,097	0	19,097
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,028	0	29,028
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65,717	0	65,717
慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	379,724	0	379,724
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,785,650	0	2,785,650
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,270	0	4,270
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55,111	0	55,111
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	280,000	0	280,000
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,391,419	0	2,391,419
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,420,000	0	1,420,000
資格喪失者会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	763,808	0	763,808
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,439,093	0	26,439,093
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,199,940	0	2,199,940
経常費用計	7,009,325	34,374,372	943,943	2,851,080	0	98,723,322	946,788	1,253,152	0	2,199,940	26,439,093	0	127,362,355
経常利益等調整増減額	△ 5,848,325	△ 31,123,813	△ 13,763,602	△ 32,840	35,525,000	△ 16,187,523	9,285,923	△ 1,253,152	0	8,032,771	8,791,214	0	636,462
当期経常増減額	△ 5,848,325	△ 31,123,813	△ 13,763,602	△ 32,840	35,525,000	△ 16,187,523	9,285,923	△ 1,253,152	0	8,032,771	8,791,214	0	636,462
繰外増減の部													
繰外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1)経常外収益													
(2)経常外費用													
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前期たな卸高修正損	0	1,267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,267
経常外費用計	0	1,267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,267
当期経常増減額	0	△ 1,267	0	0	0	△ 1,267	0	0	0	0	0	0	△ 1,267
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,848,325	△ 31,125,080	△ 13,763,602	△ 32,840	44,562,891	△ 9,037,891	△ 9,037,891	△ 1,253,152	0	△ 9,037,891	8,791,214	0	635,195
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,848,325	△ 31,125,080	△ 13,763,602	△ 32,840	44,562,891	△ 7,150,899	178,032	△ 1,253,152	0	△ 1,075,120	8,791,214	0	565,195
一般正味財産期首残高	△ 11,686,681	△ 53,572,571	△ 17,095,346	△ 1,447,142	71,922,906	△ 11,950,914	506,429	△ 2,800,324	0	△ 2,293,895	4,226,946	0	△ 10,018,163
一般正味財産期末残高	△ 17,535,006	△ 84,697,651	△ 30,858,948	△ 2,391,085	116,485,797	△ 19,101,813	684,461	△ 4,053,476	0	△ 3,389,015	13,017,860	0	△ 9,452,968
指定正味財産増減の部													
受取寄付金	0	0	0	1,437,100	0	1,457,100	0	0	0	0	0	0	1,457,100
受取利息	0	0	0	345	0	345	0	0	0	0	0	0	345
受取寄付金計	0	0	0	1,437,445	0	1,457,445	0	0	0	0	0	0	1,457,445
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 2,818,240	0	△ 3,118,240	0	0	0	0	0	0	△ 3,118,240
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 1,380,795	0	△ 1,660,795	0	0	0	0	0	0	△ 1,660,795
指定正味財産期首残高	0	0	0	3,466,752	0	3,766,752	0	0	0	0	0	0	3,766,752
指定正味財産期末残高	0	0	0	2,085,957	0	2,105,957	0	0	0	0	0	0	2,105,957
基金増減の部													
基金受入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金返還額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正味財産期末残高	△ 17,535,006	△ 84,697,651	△ 30,838,948	△ 2,391,085	116,485,797	△ 16,995,856	684,461	△ 4,053,476	0	△ 3,389,015	85,944,484	0	65,579,513

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)当法人は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法  
個別法による最終仕入原価法によっている。
- (3)固定資産の減価償却の方法  
法人税法の規定に基づき次のとおりの償却方法を採用している。  
①什器備品・・・・・・定率法によっている。  
②ソフトウェア・・・・・・5年間にわたる定額法によっている。  
③一括償却資産・・・・・・3年間にわたる定額法によっている。
- (4)引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・・・・当期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。
- (5)消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6)前期たな卸高修正益  
前期末のたな卸資産の計上額に誤りがあったため、期中において修正を行い、その修正額1,267円を前期たな卸高修正損に計上している。そのため貸借対照表（前年度）のたな卸資産174,469円と正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表における期首たな卸高173,202円には1,267円の差額が生じている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
選挙積立預金	1,987,601	347	625,696	1,362,252
退職給付引当資産	1,580,208	604,031	0	2,184,239
寄附積立資産	300,000	20,000	300,000	20,000
災害看護支援資産	3,466,752	1,437,655	2,818,450	2,085,957
小計	7,334,561	2,062,033	3,744,146	5,652,448
合計	7,334,561	2,062,033	3,744,146	5,652,448

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち基金からの 充当額)	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に対 応する額)
特定資産					
選挙積立預金	1,362,252	(0)	(0)	(1,362,252)	(0)
退職給付引当資産	2,184,239	(0)	(0)	(0)	(2,184,239)
寄附積立資産	20,000	(0)	(20,000)	(0)	(0)
災害看護支援資産	2,085,957	(0)	(2,085,957)	(0)	(0)
小計	5,652,448	(0)	(2,105,957)	(1,362,252)	(2,184,239)
合計	5,652,448	(0)	(2,105,957)	(1,362,252)	(2,184,239)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,390,678	3,077,533	313,145
ソフトウェア	1,739,430	1,576,997	162,433
一括償却資産	234,381	165,393	68,988

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
東日本これからのケア 川嶋みどり 「東日本大震災における被災地の看護職者の語りを通して看護実践内容を明らかにする」助成	995,000
佐々木久美子（宮城大学看護学部） 「宮城大学看護学生・教職員による南三陸町に在住する高齢者への健康支援活動を行うためのシステムづくり」助成	500,000
山本あい子（兵庫県立大学） 「気仙沼市鹿折地区仮設住宅の家庭全戸訪問による健康・生活調査」助成	900,000
綾部明江（茨城県立医療大学） 「都市部に避難した東日本大震災被災者への健康支援事業の実施」助成	423,240
第32回学術集会 （㈱大塚製薬工場より寄附）	300,000
合計	3,118,240

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	選挙積立預金	1,987,601	347	625,696	1,362,252
	退職給付引当資産	1,580,208	604,031	0	2,184,239
	寄附積立資産	300,000	20,000	300,000	20,000
	災害看護支援資産	3,466,752	1,437,655	2,818,450	2,085,957
	特定資産計	7,334,561	2,062,033	3,744,146	5,652,448
その他固定資産	什器備品	384,695	0	71,550	313,145
	ソフトウェア	407,923	0	245,490	162,433
	一括償却資産	43,634	103,481	78,127	68,988
	電話加入権	72,030	0	0	72,030
	保証金	1,400,000	0	0	1,400,000
	長期前払費用	105,585	0	105,585	0
	その他固定資産計	2,413,867	103,481	500,752	2,016,596

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,580,208	604,031	0	0	2,184,239

収支計算書に対する注記

次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	134,560	116,610
普通預金	74,302,537	76,545,763
未収会費	1,672,000	1,380,000
未収金	2,183,726	389,013
前払費用	1,328,294	1,786,835
合計	79,621,117	80,218,221
未払金	233,151	0
前受会費	16,150,000	16,850,000
未払費用	2,608,814	2,559,409
未払消費税等	398,700	600,600
未払法人税等	70,000	70,000
前受金	1,646,500	0
預り金	171,428	236,972
仮受金	10,000	0
合計	21,288,593	20,316,981
次期繰越収支残高	58,332,524	59,901,240

財 産 目 録  
平成 25年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金預金	手元現金	運転資金として	113,345
		学術集会用小口現金(第33回)	運転資金として	3,265
	普通預金	みずほ銀行本郷支店	運転資金として	62,651,509
		三菱東京UFJ銀行本郷支店	運転資金として	8,879,232
		三菱東京UFJ銀行本郷支店	運転資金として	4,079,032
		三井住友銀行大阪本店営業部	運転資金として	470,590
		ゆうちょ銀行	運転資金として	465,400
		未収会費	平成24年度会費	会員会費未収金138名分
	未収金	㈱国際文献印刷社	学会誌・講演集販売代金の未収金H25.1~3月分	289,013
		㈱コスモサウンド	第31回学術集会企業展示料	100,000
	たな卸資産	学会誌・学術講演集在庫	学会誌及び学術講演集の在庫	193,568
	前払費用	㈱損害保険ジャパン	火災保険料H25.4.1~H25.5.13	585
		春日土地㈱	事務所賃借更新料H25.4.1~H25.12.31	105,000
(有)プライムアソシエツ		JJNS編集事務費H25.4.1~H25.12.31	1,181,250	
ウィリアム・ルイス・ホルツマー		JJNS編集長報酬H25.4.1~H25.6.30	500,000	
流動資産合計				80,411,789
(固定資産)				
特定資産				
選挙積立預金	選挙積立預金	みずほ銀行本郷支店	管理業務の用に供している	1,362,252
	退職給付引当資産	三菱東京UFJ銀行本郷支店	退職金の引当資産である	2,184,239
	寄附積立資産	三菱東京UFJ銀行本郷支店	指定正味財産であり、学術集会のために寄附を受けている	20,000
	災害看護支援資産	三菱東京UFJ銀行本郷支店	指定正味財産であり、災害看護支援事業のために寄附を受けている	1,085,957
		ゆうちょ銀行	同上	1,000,000
その他固定資産				
什器備品	什器備品	東京都文京区本郷3-37-3 オカムラ両開き書庫他6点	共用財産であり、公益目的事業の用に37.0%、収益事業の用に2.4%、管理業務の用に60.6%供している。公益目的事業の用に供している部分は、公益目的保有財産である。	313,145
	ソフトウェア	東京都文京区本郷3-37-3 会員管理システム	管理業務の用に供している	162,433
	一括償却資産	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している	68,988
	電話加入権	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している	72,030
	保証金	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している	1,400,000
固定資産合計				7,669,044
資産合計				88,080,833

(流動負債)	前受会費	平成25年度会費	平成25年度正会員10,000円×1,660名 平成25年度賛助会員 250,000円 (5口)	16,850,000
	未払費用	(株)日新社 日本郵便(株) 厚生労働省年金局 (株)ASC 他5件	角2封筒15,000部、案内ハソフレット発送作業他 和文誌発送費(第33巻1号)、口座振替料 社会保険料(H25.2~3月分) 和文誌発送代行(第33巻1号)7,026冊 他	1,483,189 489,882 242,120 344,218
	未払法人税等	東京都千代田都税事務所	平成24年度法人住民税	70,000
	未払消費税等	本郷税務署	平成24年度消費税	600,600
	預り金	事務所員 中村コンサルティングオフィス	源泉税・住民税・健康保険・厚生年金 報酬源泉税	203,279 33,693
流動負債合計				20,316,981
(固定負債)	退職給付引当金	事務所員8名分	平成25年3月末日要支給額	2,184,239
固定負債合計				2,184,239
負債合計				22,501,220
正味財産				65,579,613

平成24年度 収支計算書  
平成24年 4月 1日 から平成 25年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	備考	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差異
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
①特定資産運用収入		1,000	661	339
特定資産受取利息収入		1,000	661	339
②会費収入		71,100,000	70,750,000	350,000
正会員会費収入	※1	70,800,000	70,450,000	350,000
賛助会員会費収入	※2	300,000	300,000	0
③学会誌収入(講演集含む)		1,932,000	2,304,289	△ 372,289
④寄付金収入(学術集分会含まず)	※3	1,500,000	1,437,445	62,555
⑤雑収入		503,000	2,111,916	△ 1,608,916
受取利息収入		3,000	4,646	△ 1,646
著作権料収入		100,000	383,270	△ 283,270
その他雑収入	※4	400,000	1,724,000	△ 1,324,000
⑥学術集会収入		40,800,000	49,713,711	△ 8,913,711
学術集会参加費収入		30,560,000	37,923,000	△ 7,363,000
事前登録会員(1万円)		11,800,000	13,290,000	△ 1,490,000
事前登録非会員(1.2万円)		5,040,000	4,896,000	144,000
事前登録学部生(0.3万円)		80,000	252,000	△ 172,000
当日登録会員(1.2万円)		9,360,000	12,336,000	△ 2,976,000
当日登録非会員(1.4万円)		4,200,000	7,056,000	△ 2,856,000
当日登録学部生(0.3万円)		80,000	93,000	△ 13,000
寄付金収入		1,000,000	1,020,000	△ 20,000
広告販売収入		8,600,000	10,232,711	△ 1,632,711
企業展示出展料		4,995,000	4,109,711	885,289
広告掲載料		1,613,000	2,031,000	△ 418,000
スポンサードセミナー		1,992,000	4,092,000	△ 2,100,000
懇親会収入		640,000	538,000	102,000
<b>事業活動収入合計(Ia)</b>		<b>115,836,000</b>	<b>126,318,022</b>	<b>△ 10,482,022</b>
<b>2. 事業活動支出</b>				
①事業費支出		83,020,785	89,098,789	△ 6,078,004
学会誌発行費支出		28,647,000	29,199,332	△ 552,332
和文誌編集・印刷費支出		10,008,000	9,510,192	497,808
和文誌発送費支出		2,688,000	2,709,343	△ 21,343
30周年記念事業費	※5	300,000	640	299,360
J-Stage7-カ17 対応費	※6	0	320,250	△ 320,250
英文誌編集・印刷費支出	※7	14,516,000	15,612,030	△ 1,096,030
英文誌発送費支出		1,135,000	1,046,877	88,123
編集活動費支出		1,785,000	2,295,728	△ 510,728
和文誌編集委員会費支出	※8	600,000	755,925	△ 155,925
英文誌編集委員会費支出	※9	1,185,000	1,539,803	△ 354,803
看護学術振興費支出		2,804,400	2,296,116	508,284
看護学学術用語検討委員会費支出		800,000	476,739	323,261
国際活動推進委員会費支出		526,000	252,815	273,185
看護倫理検討委員会費支出		491,000	159,307	331,693
研究・学術情報委員会費支出		485,400	451,960	33,440
表彰論文選考委員会費支出		502,000	142,300	359,700
セミナー等開催費	※10	0	812,995	△ 812,995
研究学術活動費支出		4,491,000	5,315,895	△ 824,895
第32回学術集會案内印刷・送付費支出	※11	0	1,024,292	△ 1,024,292
第32回学術集會プログラム印刷・送付費支出		3,095,000	2,599,629	495,371
第33回学術集會案内印刷・送付費支出	※12	1,135,000	1,573,049	△ 438,049
受賞論文表彰費支出		140,000	118,925	21,075
研究倫理審査委員会費		121,000	0	121,000
社会的活動費支出		1,266,500	659,128	607,372
社会貢献委員会支出		816,500	218,748	597,752
市民フォーラム開催費		450,000	440,380	9,620
災害看護支援事業費支出		1,600,000	2,851,080	△ 1,251,080
災害看護支援事業委員会		100,000	32,840	67,160
災害看護支援事業助成金	※13	1,500,000	2,818,240	△ 1,318,240
総務費支出		1,027,000	671,259	355,741
総務委員会費支出		400,000	330,856	69,144
広報委員会費支出		627,000	340,403	286,597



科 目	備考	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差異
第32回学術集会		40,199,885	44,610,251	△ 4,410,366
人件費支出		100,000	20,700	79,300
諸謝金費支出		388,885	211,109	177,776
会議費支出		320,000	986,304	△ 666,304
会場費支出	※14	24,460,000	27,860,466	△ 3,400,466
旅費交通費支出		610,000	591,940	18,060
通信運搬費支出		241,000	221,103	19,897
消耗品費支出		670,000	30,271	639,729
印刷製本費支出		5,665,000	5,909,469	△ 244,469
委託費支出	※15	6,595,000	7,787,530	△ 1,192,530
渉外費支出		50,000	0	50,000
雑支出		100,000	271,245	△ 171,245
懇親会運営費支出		1,000,000	720,114	279,886
第33回学術集会		1,200,000	1,200,000	0
人件費支出		200,000	0	200,000
会議費支出		100,000	57,357	42,643
旅費交通費支出		300,000	95,880	204,120
通信運搬費支出		50,000	119,220	△ 69,220
消耗品費支出		200,000	20,783	179,217
印刷製本費支出		300,000	366,900	△ 66,900
委託費支出		0	539,650	△ 539,650
雑支出		50,000	210	49,790
②管理費支出		<b>37,828,400</b>	<b>37,354,734</b>	<b>473,666</b>
給料手当支出	※16	13,849,000	15,291,820	△ 1,442,820
退職給付支出		300,000	0	300,000
福利厚生費支出	※16	1,522,000	1,774,339	△ 252,339
会議費（学会総会費）		1,000,000	319,696	680,304
会議費（社員総会費）		3,010,000	1,174,630	1,835,370
会議費（理事会費）		2,170,000	2,285,336	△ 115,336
委託費支出		2,984,600	3,082,582	△ 97,982
渉外費支出		30,000	10,290	19,710
旅費交通費支出		25,000	29,370	△ 4,370
通信運搬費支出		2,075,000	1,977,924	97,076
通勤費支出		1,350,000	1,298,600	51,400
消耗品費支出		1,045,000	625,636	419,364
印刷製本費支出		60,000	47,880	12,120
慶弔費支出		50,000	65,717	△ 15,717
光熱水料費支出		660,000	626,332	33,668
賃借料支出		4,530,000	4,594,772	△ 64,772
保険料支出		7,800	7,044	756
諸謝金支出		50,000	0	50,000
租税公課支出	※17	620,000	725,711	△ 105,711
負担金支出		280,000	280,000	0
修繕費支出		50,000	31,500	18,500
会場費支出		0	0	0
選挙費用支出		600,000	425,696	174,304
資格喪失者会費支出	※18	540,000	1,420,000	△ 880,000
雑支出		1,020,000	1,259,859	△ 239,859
事業活動支出合計（I b）		120,849,185	126,453,523	△ 5,604,338
事業活動収支差額（I a）-（I b）		△ 5,013,185	△ 135,501	△ 4,877,684

科 目	備考	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差異
<b>Ⅱ 投資活動収支の部（資金の内部移動）</b>				
1. 投資活動収入	※19			
選挙積立取崩（選挙費用として使用）		600,000	425,696	174,304
選挙積立取崩（H23年度積立金額間違い分戻し）			200,000	△ 200,000
退職給付引当資産取崩		300,000	0	300,000
寄付資産取崩	※20	0	300,000	
災害看護支援資産取崩（災害看護支援助成金）	※21	0	2,818,450	△ 2,818,450
長期前払費用振替		0	105,585	△ 105,585
投資活動収入合計（Ⅱa）		900,000	3,849,731	△ 2,949,731
2. 投資活動支出	※22			
選挙積立預金	※23	1,000,000	347	999,653
退職給付引当金積立		724,000	604,031	119,969
災害看護支援事業積立		0	1,437,655	△ 1,437,655
3. 固定資産等取得支出				
什器備品購入支出		100,000	103,481	△ 3,481
事務所更新料・火災保険料支出		0	0	0
投資活動支出合計（Ⅱb）		1,824,000	2,145,514	△ 321,514
投資活動収支差額（Ⅱa）-（Ⅱb）		△ 924,000	1,704,217	△ 2,628,217
<b>Ⅲ 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計（Ⅲa）		0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計（Ⅲb）		0	0	0
財務活動収支差額（Ⅲa）-（Ⅲb）		0	0	0
Ⅳ 予備費支出		3,000,000	0	3,000,000
当期収支差額		△ 8,937,185	1,568,716	
前期繰越収支差額		41,878,128	58,332,524	
次期繰越収支差額		32,940,943	59,901,240	

- ※1 平成24年4月1日現在の会員登録数（請求人数6354名）、平成24年度中の新入会・再入会者が691名。
- ※2 ㈱日本看護協会出版会2口、㈱医学書院・㈱南江堂・㈱へるす出版・(有)ヌーヴェルヒロカワ各1口。
- ※3 災害看護支援事業寄付金＋受取利息
- ※4 JJNS(英文誌)セミナー参加費(56万円)、JANS(理事会主催)セミナー参加費(116万円)
- ※5 30周年記念号として印刷製本せず、32巻3号に特別記事として掲載した。
- ※6 H22年に予算立てしていたが、作業および請求の遅延によりH24年度経費となった。
- ※7 取扱原稿超過分の予算が20篇のところ150篇あったため。
- ※8 遠方委員が多いため、交通費支出が予算を上回った。
- ※9 委員増員および委員会開催回数の増加により交通費支出が予算を上回った。
- ※10 平成24年度では予算計上をしていなかったJANSセミナーを今期中に開催したため。
- ※11 JANS32学術集案内パンフレット作成料が平成23年度に未請求だったため、平成24年度経費になった。
- ※12 会員異動の影響を避けるため、パンフレット送付に係る日数の短縮を優先させたことにより、発送代金および発送作業費が予算を超過した。
- ※13 募金額が予定を上回ったので、助成事業を増やした。(3件→4件)
- ※14 参加人数の増加に伴い、会場を拡大した。
- ※15 会場の拡大により当日委託費(スタッフ配置)が予算を上回った。また、当日の現金輸送費用を予算化していなかったため予算を超過した。
- ※16 会員数の漸増と会員サービスの充実、公益事業(各総会、学術集会、セミナー、委員会活動等)の活発化に伴い、事務所の担務が質・量、密度共に高度化しており、時間外・休日出勤などでも対応しているため。
- ※17 収益事業(学会誌販売収入、著作権収入、学術集会に伴う広告販売収入)に関わる法人税および法人事業税は0円、法人住民税7万円(均等割分のみ)  
消費税課税売上高(学術集会非会員参加費収入、広告販売収入、学会誌販売収入など)から簡易課税方式にて計算した消費税約60万円
- ※18 平成24年4月1日付の資格喪失者のうち、平成24年3月31日までに未納会費を納入し再入会したもの 以外は損失分として支出に計上される。
- ※19 各積立金を取り崩し、それを資金として各目的の事業活動のために使用する。事業活動資金の増加となるため、「投資活動収入」と表す。
- ※20 H23年度中に受領したJANS32学術集会への寄付金を積立て、H24年度のJANS32学術集会の活動資金とした。
- ※21 災害看護支援事業助成金額を予算化することができないため、実績のみ計上。
- ※22 目的のある積立をするために、事業活動の資金を各積立預金に振替える。事業活動資金が減少するため、「投資活動支出」と表す。
- ※23 平成23年度中に24年度分の積立(資金移動)を執行済みのため、利息分のみを計上。

災害看護支援事業収支報告書

平成25年3月31日現在

項目	平成23年度		平成24年度	
収入の部				
①災害看護支援寄附金収入	5,095,000		1,437,100	
《内訳》 団体	5件	4,270,000	1件	1,000,000
個人	39名	825,000	2名	303,000
ワンコイン募金(JANS32)	0		134,100	
②預金利息	302		345	
収入合計	5,095,302		1,437,445	
支出の部				
災害看護支援助成支出	3件	1,628,550	4件	2,818,240
支出合計	1,628,550		2,818,240	
単年度収支	3,466,752		-1,380,795	
前年度繰越	0		3,466,752	
災害看護支援口(積立金)口座残高 ※	3,466,752		2,085,957	
《内訳》 三菱東京UFJ 銀行	3,466,752		1,085,957	
ゆうちょ銀行	0		1,000,000	

※「特定資産」として一般正味財産とは別途の財産管理(法人化以前の「特別会計」と同様の扱い)をしている。

《助成支出内訳》

☆平成23(2011)年度

代表者名	事業名	助成金額
川嶋 みどり	ケアを媒体にした新しいコミュニティを形成する活動の一環としてのなでしこ茶論(サロン)の運営	760,000
島内 節	震災被災地支援のために看護師への在宅ケア研修会	496,261
宇佐美 しおり	災害支援ジョイントプロジェクト	372,289
	3件	1,628,550

☆平成24(2012)年度

代表者名	事業名	助成金額
川嶋 みどり	東日本大震災における被災地の看護職者の語りを通して看護実践内容を明らかにする	995,000
山本 あい子	兵庫県立大学・宮城大学看護東北プロジェクト 気仙沼市鹿折地区仮設住宅の家庭全戸訪問による健康調査	900,000
佐々木 久美子	宮城大学看護学生・教職員による南三陸町に在住する高齢者への健康支援活動を行うためのシステムづくり	500,000
綾部 明江	都市部に避難した東日本大震災被害者への健康支援事業の実施	423,240
	4件	2,818,240

## 公益社団法人 日本看護科学学会 平成 26 年度事業計画

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

1. 第 34 回日本看護科学学会学術集会開催
2. 第 35 回・第 36 回日本看護科学学会学術集会準備
3. 和文誌の発行 …電子ジャーナル (J-Stage) 十年 1 回合本版
4. 英文誌の発行 …電子ジャーナル (Wiley)
5. 看護学学術振興対策
  - 1) 看護学学術用語の検討
  - 2) 国際活動の推進 (世界看護科学学会を含む)
  - 3) 看護倫理の検討と啓発
  - 4) 研究成果の蓄積と活用
6. 学術研究論文の表彰
7. 学会組織の強化・発展
  - 1) 若手研究者育成のための新規事業
  - 2) JANS セミナー
  - 3) 学術振興事業の検討
  - 4) 学会誌の電子化
  - 5) 選挙の電子化
  - 6) 委員会等の遠隔会議システムの導入
8. 社会貢献活動
9. 広報活動
10. 災害看護支援事業 (日本看護系学会協議会との共同事業による)
11. 他機関との連携活動
  - 1) 日本看護系学会協議会
  - 2) 看護系学会等社会保険連合
  - 3) 日本学術会議
  - 4) その他の機関
12. 平成 27 年選出代議員選挙実施、平成 27 年選出役員候補者選挙準備

平成26年度 収支予算書

平成26年4月 1日 から平成 27年 3月 31日 まで

科 目	備考	平成26年度 予算額 (H. 26. 4. 1~ H. 27. 3. 31)	平成25年度 予算額 (H. 25. 4. 1~ H. 26. 3. 31)	差異
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
①特定資産運用収入		1,000	1,000	0
特定資産受取利息収入		1,000	1,000	0
②会費収入		79,800,000	74,600,000	5,200,000
正会員会費収入	※1	79,500,000	74,300,000	5,200,000
賛助会員会費収入	※2	300,000	300,000	0
③学会誌収入(購読集含む)		2,150,000	2,163,000	△ 13,000
④寄附金収入(学術集会含まず)		1,000,000	1,500,000	△ 500,000
災害看護支援寄附金収入		1,000,000	1,500,000	△ 500,000
その他の寄附金収入		0	0	0
⑤雑収入		4,403,000	2,003,000	2,400,000
受取利息収入		3,000	3,000	0
著作権料収入		100,000	100,000	0
セミナー収入	※3	4,300,000	1,900,000	2,400,000
その他雑収入		0	0	0
④学術集会収入		41,064,800	42,262,000	△ 1,197,200
学術集会参加費収入		32,350,000	31,280,000	1,070,000
事前登録会員(10,000円)		13,000,000	12,000,000	1,000,000
事前登録非会員(12,000円税込)		5,400,000	5,160,000	240,000
学部生(3,000円)		150,000	180,000	△ 30,000
当日登録会員(12,000円)		9,600,000	9,600,000	0
当日登録非会員(14,000円税込)		4,200,000	4,340,000	△ 140,000
当日登録学部生(5,000円)		-	-	-
寄附金・助成金収入		350,000	1,000,000	△ 650,000
広告販売収入		7,624,800	9,342,000	△ 1,717,200
企業展示出展料		3,412,800	3,210,000	202,800
広告掲載料		2,484,000	4,242,000	△ 1,758,000
スポンサーセミナー		1,728,000	1,890,000	△ 162,000
懇親会収入		640,000	640,000	0
雑収入		100,000	0	100,000
<b>事業活動収入合計(I a)</b>		<b>128,418,800</b>	<b>122,529,000</b>	<b>5,889,800</b>
<b>2. 事業活動支出</b>				
①事業費支出		81,165,400	81,958,950	△ 793,550
学会誌発行費支出		22,910,000	29,531,000	△ 6,621,000
和文誌編集・印刷費支出	※4	7,200,000	10,350,000	△ 3,150,000
和文誌発送費支出		1,830,000	2,816,000	△ 986,000
英文誌編集費支出	※5	13,880,000	15,020,000	△ 1,140,000
英文誌発送費支出		0	1,345,000	△ 1,345,000
編集活動費支出		3,113,000	2,393,000	720,000
和文誌編集委員会費支出		580,000	640,000	△ 60,000
英文誌編集委員会費支出	※6	2,533,000	1,753,000	780,000
看護学術振興費支出		5,084,100	4,973,000	111,100
看護学学術用語検討委員会費支出		854,000	576,000	278,000
国際活動推進委員会費支出		800,000	975,000	△ 175,000
看護倫理検討委員会費支出		780,000	500,000	280,000
研究・学術情報委員会費支出		453,100	511,000	△ 57,900
表彰論文選考委員会費支出		220,000	311,000	△ 91,000
災害看護支援事業専門委員会支出		172,000	100,000	72,000
学術振興事業検討委員会		305,000	500,000	△ 195,000
災害看護支援助成金支出	※7	1,500,000	1,500,000	0
研究学術活動費支出		2,240,000	1,201,000	1,039,000
受賞論文表彰費支出		170,000	80,000	90,000
研究倫理審査委員会費		120,000	121,000	△ 1,000
セミナー等開催費		1,950,000	1,000,000	950,000
社会的活動費支出		929,000	1,256,500	△ 327,500
社会貢献委員会支出(市民フォーラム開催費含む)		929,000	1,256,500	△ 327,500
総務費支出		1,147,000	1,102,000	45,000
総務委員会費支出		400,000	370,000	30,000
広報委員会費支出		747,000	732,000	15,000

科 目	備考	平成26年度 予算額 (H. 26. 4. 1～ H. 27. 3. 31)	平成25年度 予算額 (H. 25. 4. 1～ H. 26. 3. 31)	差異
学術集会費支出		45,742,300	41,502,450	4,239,850
当年度開催学術集会		43,242,300	39,171,700	4,070,600
会場費支出		20,796,000	19,829,010	966,990
会議費支出		735,000	408,660	326,340
旅費交通費支出		1,400,000	1,146,000	254,000
消耗品費支出		452,000	60,000	392,000
通信運搬費支出(プログラム送料含む)		1,603,500	1,177,150	426,350
印刷製本費支出(プログラム印刷含む)		8,405,500	7,473,640	931,860
委託費支出		6,880,300	5,115,370	1,764,930
人件費支出		0	516,000	△ 516,000
謝金支出		600,000	290,000	310,000
賃借料支出		0	0	0
渉外費支出		140,000	0	140,000
雑支出		1,270,000	2,110,470	△ 840,470
懇親会運営費支出		960,000	1,045,400	△ 85,400
次年度開催学術集会(準備期間)		2,500,000	2,330,750	169,250
会場費支出		0	0	0
会議費支出		50,000	49,500	500
旅費交通費支出		500,000	490,000	10,000
消耗品費支出		10,000	10,000	0
通信運搬費支出(パンフレット送料含む)		770,000	725,000	45,000
印刷製本費支出(パンフレット印刷含む)		1,010,000	906,250	103,750
委託費支出		160,000	150,000	10,000
人件費支出		0	0	0
謝金支出		0	0	0
賃借料支出		0	0	0
渉外費支出		0	0	0
雑支出		0	0	0
懇親会運営費支出		0	0	0
<b>②管理費支出</b>		<b>45,412,000</b>	<b>40,987,000</b>	<b>4,425,000</b>
給料手当支出	※8	16,530,000	15,550,000	980,000
通勤費支出	※9	2,440,000	1,407,000	1,033,000
福利厚生費支出		1,932,000	1,640,000	292,000
退職給付支出		300,000	300,000	0
学会総会費		200,000	500,000	△ 300,000
社員総会費	※10	2,880,000	2,660,000	220,000
理事会費		2,360,000	2,338,000	22,000
委託費支出	※11	4,100,000	4,134,000	△ 34,000
渉外費支出		30,000	30,000	0
旅費交通費支出	※12	280,000	280,000	0
通信運搬費支出		2,132,000	2,050,000	82,000
消耗品費支出		1,090,000	1,000,000	90,000
印刷製本費支出		86,000	120,000	△ 34,000
慶弔費支出		50,000	50,000	0
光熱水料費支出		660,000	660,000	0
賃借料支出	※13	4,580,000	4,900,000	△ 320,000
保険料支出		8,000	8,000	0
諸謝金支出		50,000	50,000	0
租税公課支出	※14	570,000	570,000	0
負担金支出	※15	150,000	280,000	△ 130,000
修繕費支出		50,000	50,000	0
選挙費用支出		2,670,000	150,000	2,520,000
資格喪失者会費支出		1,000,000	1,000,000	0
雑支出		1,264,000	1,260,000	4,000
<b>事業活動支出合計(I b)</b>		<b>126,577,400</b>	<b>122,945,950</b>	<b>3,631,450</b>
<b>事業活動収支差額(I a)-(I b)</b>		<b>1,841,400</b>	<b>△ 416,950</b>	<b>2,258,350</b>

科 目	備考	平成26年度 予算額 (H. 26. 4. 1~ H. 27. 3. 31)	平成25年度 予算額 (H. 25. 4. 1~ H. 26. 3. 31)	差異
<b>Ⅱ 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入		4,470,000	1,950,000	2,520,000
選挙積立取崩収入		2,670,000	150,000	2,520,000
退職給付引当資産取崩収入		300,000	300,000	0
災害看護支援資産取崩収入		1,500,000	1,500,000	0
②その他投資活動収入		105,000	0	105,000
長期前払費用振替収入(事務所更新料)		105,000	0	105,000
<b>投資活動収入合計(Ⅱa)</b>		<b>4,575,000</b>	<b>1,950,000</b>	<b>2,625,000</b>
2. 投資活動支出				
①特定財産取得支出		3,100,000	2,300,000	800,000
選挙積立預金支出		1,500,000	200,000	1,300,000
退職給付引当資産取得支出		600,000	600,000	0
災害看護支援資産取得支出		1,000,000	1,500,000	△ 500,000
②固定資産取得支出		100,000	100,000	0
什器備品購入支出		100,000	100,000	0
③その他投資活動支出		0	105,000	△ 105,000
長期前払費用取得支出(事務所更新料)		0	105,000	△ 105,000
<b>投資活動支出合計(Ⅱb)</b>		<b>3,200,000</b>	<b>2,505,000</b>	<b>695,000</b>
<b>投資活動収支差額(Ⅱa)-(Ⅱb)</b>		<b>1,375,000</b>	<b>△ 555,000</b>	<b>1,930,000</b>
<b>Ⅲ 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入合計(Ⅲa)</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出合計(Ⅲb)</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>財務活動収支差額(Ⅲa)-(Ⅲb)</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>Ⅳ 予備費支出</b>		<b>3,000,000</b>	<b>3,000,000</b>	<b>0</b>
<b>当期収支差額</b>		<b>216,400</b>	<b>△ 3,971,950</b>	<b>4,188,350</b>
<b>前期繰越収支差額</b>		<b>55,929,290</b>	<b>59,901,240</b>	<b>△ 3,971,950</b>
<b>次期繰越収支差額</b>		<b>56,145,690</b>	<b>55,929,290</b>	<b>216,400</b>

- ※1 平成26年4月1日時点での会員数を7,600名、新入会者・再入会者700名、資格喪失者350名と見積もり、合計請求人数を7,950名として計上
- ※2 (株)日本看護協会出版会2口、(株)医学書院・(株)南江堂・(株)へるす出版・(有)スーヴェルヒロカワ各1口。会費1口50,000円。
- ※3 JJNSセミナー受講料(130万)、JANSセミナー受講料(100万×3回)で見積り
- ※4 日本看護科学会誌(電子ジャーナル+年1回合本版)の印刷製本費、編集事務費・通信費、論文データベース作成費、学術集会講演集定期購読等販売用印刷製本費
- ※5 JJNS(Online Journal)の編集費、オンライン投稿利用料、編集事務費、英文誌編集長謝金(旅費交通費を含め年間200万円)
- ※6 英文誌編集委員会企画セミナー、若手研究者支援事業に関わる経費支出を含む
- ※7 災害看護支援事業への寄付金を活用し、助成および広報活動を行う
- ※8 正職員3名、パート6名(週1日~3日勤務)の給与・賞与(総務担当パート職員1名増員を含む)。
- ※9 転居により通勤経路が変更となるため通勤費を増額し、これに伴い社会保険料、健康診断料も増額した。
- ※10 定例理事会6回(5月、6月、9月、10月、12月、2月)、社員総会2回(6月、12月)民間会議場使用、学会総会1回(12月)学術集会会議場使用
- ※11 会計顧問料、公認会計士監査報酬、事務所警備委託費、封入委託費、会員管理システム利用料(学術集会参加登録システム・行事管理システムを含む)、JANSホームページ年間維持更新管理料、ホームページ英訳費用、Web会議システム、JANSセミナーアンケート集計
- ※12 事務所職員の出張に伴う交通費(5名分)。通勤費は「通勤手当」費目にて別途計上。
- ※13 事務所賃借料、カラー印刷機リース料、紙折り機リース料、レーザープリンタ複合機リース料
- ※14 収益事業(学会誌販売収入、著作権収入、学術集会に伴う広告販売収入)に関わる法人税および法人事業税は0円、法人住民税約7万円(均等割分のみ)。消費税課税売上高(学術集会非会員参加費収入、広告販売収入、学会誌販売収入など)に係る消費税(簡易課税方式)。
- ※15 日本看護系学会協議会8万円、看護系学会等社会保険連合7万円

# 平成26年度 収支予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日

## 公益社団法人 日本看護科学学会

科目	公益目的事業				収益事業等			法人会計	合計
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	共通	計	広告販売		
I 一般正味財産増減の部									
1. 繰当増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費									
正会員受取会費					31,800,000				31,800,000
賛助会員受取会費					300,000				300,000
事業収益									
学会誌収益(講演集含む)		2,150,000							2,150,000
学術集会参加費			32,350,000						32,350,000
広告販売収入							7,624,800		7,624,800
寄付金・助成金	1,000,000		350,000						1,350,000
雑収益									
受取利息									4,000
著作権料									100,000
懇親会収入(※)									640,000
セミナー収益	3,000,000	1,300,000							4,300,000
その他の雑収入			100,000						100,000
経常収益計	4,000,000	3,450,000	32,800,000		32,100,000		7,624,800		76,224,800
① 事業費									
学会誌発行費		22,910,000							22,910,000
受賞論文表彰費		170,000							170,000
災害看護支援助成金	1,500,000								1,500,000
会場費	1,340,000	300,000	20,432,629	350,000			363,371		22,786,000
会議費	207,000	160,000	771,284	39,000			13,716		1,191,000
旅費交通費	2,361,728	1,123,238	1,891,154	272,518			34,857		5,686,364
消耗品費	334,871	125,461	548,731	39,803			14,526		1,074,560
通信運搬費	462,721	356,939	2,517,462	39,174			54,093		3,482,233
印刷製本費	86,164	142,137	9,258,462	30,773			165,027		9,683,444
委託費	1,220,617	1,560,266	7,273,887	36,874			147,287		10,280,939
人件費(学術集会・委員会)	180,000	100,000	40,000	40,000					320,000
諸謝金	641,000	100,000	589,516	130,000			10,484		1,471,000
雑費	282,576	107,992	1,357,747	31,368			29,674		1,822,218
租税公課							570,000		570,000
通勤手当	458,611	202,500	212,222	21,944			14,444		934,721
退職給付費用	112,773	49,795	52,186	5,396			3,552		229,850
福利厚生費	363,130	160,340	168,038	17,376			11,437		740,116
光熱水料費	124,051	54,775	57,404	5,936			3,907		282,835
賃借料	860,836	380,102	398,352	41,191			27,113		1,754,520
修繕費	9,398	4,150	4,349	450			296		19,155
火災保険料	1,504	664	696	72			47		3,065
減価償却費	9,398	4,150	4,349	450			296		19,155
渉外費			137,554				2,446		140,000
支払負担金									
支払寄付金									
給料手当	3,106,902	1,371,855	1,437,719	148,665			97,855		6,332,361
					6,065,141				267,220
									169,365



科目	公益目的事業					収益事業等			法人会計	合計
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	共通	計	広告販売	連携事業		
②管理費										
懇親会費										960,000
学会総会費										200,000
社員総会費										2,880,000
理事会費										2,360,000
会場費										
会議費										72,000
旅費交通費										1,662,736
消耗品費										672,440
通信運搬費										1,999,947
印刷製本費										353,056
委託費										3,326,861
人件費(委員会)										320,000
諸謝金										200,000
雑費										782,602
租税公課										
通勤手当										1,505,279
退職給付費用										370,150
福利厚生費										1,191,884
光熱水料費										407,165
賞借料										2,825,480
修繕費										30,845
火災保険料										4,935
減価償却費										180,845
渉外費										30,000
慶弔費										50,000
支払負担金										150,000
支払寄付金										
給料手当										10,197,639
経常用計	13,663,280	29,384,274	47,113,741	1,250,990		91,412,285	1,564,428	366,823	1,931,251	32,733,864
当期経常増減額	-9,663,280	-25,934,274	-14,313,741	-1,250,990	32,100,000	-19,062,285	6,060,372	-366,823	5,693,549	15,710,136
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
経常外費用計										
当期経常外増減額										
他会計振替額										
税引前当期一般正味財産増減額	-9,663,280	-25,934,274	-14,313,741	-1,250,990	37,611,756	5,511,756	-5,511,756	0	-5,511,756	
法人税、住民税及び事業税										
当期一般正味財産増減額	-9,663,280	-25,934,274	-14,313,741	-1,250,990	37,611,756	-13,550,529	478,616	-366,823	70,000	111,793
										15,710,136
										2,271,400

注1 従来形式の収支予算書で表示されている各委員会費支出、学術集会費支出は、事業の目的別に区分をし、各費用科目に予算を計上している。  
注2 従来形式の収支予算書の事業費、管理費は科目ごとに一定の配賦割合(面積割合や従事割合など)に基づき、本収支予算書の事業費、管理費に配賦されている。  
注3 従来形式の収支予算書に表示されている「退職給付支出」、「資格喪失者会費支出(貸倒損失)」、「投資活動収支」、「予備費」は本予算書には算入しない。  
注4 従来形式の収支予算書に表示されていない「減価償却費」、「退職給付費用(要積立額)」を本予算書に計上している。

※ 学会総会提出時の資料では、公益目的事業の経常収益計72,990,000円、公益目的事業の当期計上増減額は-18,422,285円となっておりますが、その後の内閣府の指導により、公益目的事業区分で計上していた学術集会懇親会収入(640,000円)を法人会計区分に移行したため、本資料では、公益目的事業の経常収益計72,350,000円、公益目的事業の当期計上増減額は-19,062,285円に変わっております。予算書全体の合計、当期経常増減額、公益目的事業比率については変更ありません。

## 名誉会員について

### 名誉会員についての定款上の規程

第12条 名誉会員は、看護学の発展に多大の寄与をした者の中から、理事会及び社員総会の承認を得たものとする。

- 2 名誉会員は、社員総会に出席し意見を述べることができる。
- 3 第1項の承認について、理事長は、学会総会に報告しなければならない。

第14条 会員は、社員総会で定める会費を納めなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、名誉会員は、会費の納入を要しない。

### 名誉会員推薦についての理事会申し合わせ事項

1) 「看護学の発展に多大の寄与をした」ことの解釈・・・次のいずれかに該当すること。

- ① JANSの学術集会会長、国際学術集会会長を務めた。
- ② JANSの理事長、もしくは理事を通算3期以上務めた。
- ③ ①、②に相当の働きをしたと理事会が認めた。
- ④ その他・・・看護学の発展に格段の貢献をしたもの。

2) 本人の同意があること

平成25年12月社員総会で名誉会員に承認された会員（了承を得て履歴等の情報を記載しております）

	中島 紀恵子 氏
略 歴	掲載省略
会 員 歴	1983年3月26日～2013年3月31日（通算30年）
学術集会会長歴	第18回日本看護科学学会学術集会会長
代 議 員 歴	評 議 員 1987年～1989年、1990年～1992年、1996年～1998年、 1999年～2001年、2005年～2007年 代 議 員 2007年～2011年

	小玉 香津子 氏
略 歴	掲載省略
会 員 歴	1984年11月19日～2011年3月31日 (通算27年)
役 員 代 議 員 歴	評 議 員 1987年～1989年、1990年～1992年、1996年～1998年、 1999年～2001年、2005年～2007年 代 議 員 2007年～2011年 理 事 1987年～1989年、1990年～1992年 監 事 1996年～1998年、1999年～2001年、2005年～2007年

## 第 36 回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告について

- ・ 第 36 回（平成 28 年度）日本看護科学学会学術集会会長

岡谷 恵子 （東京医科大学）